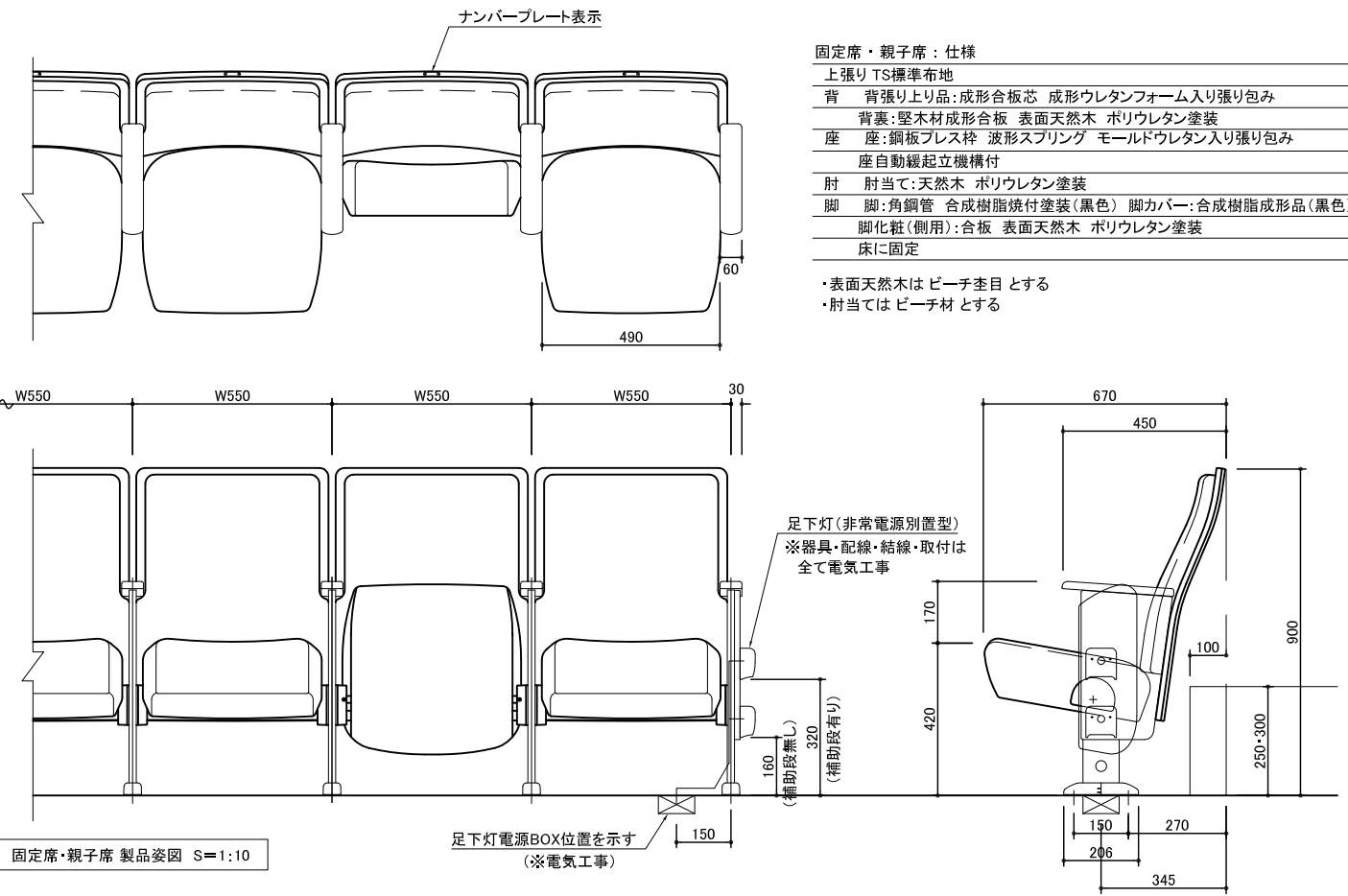
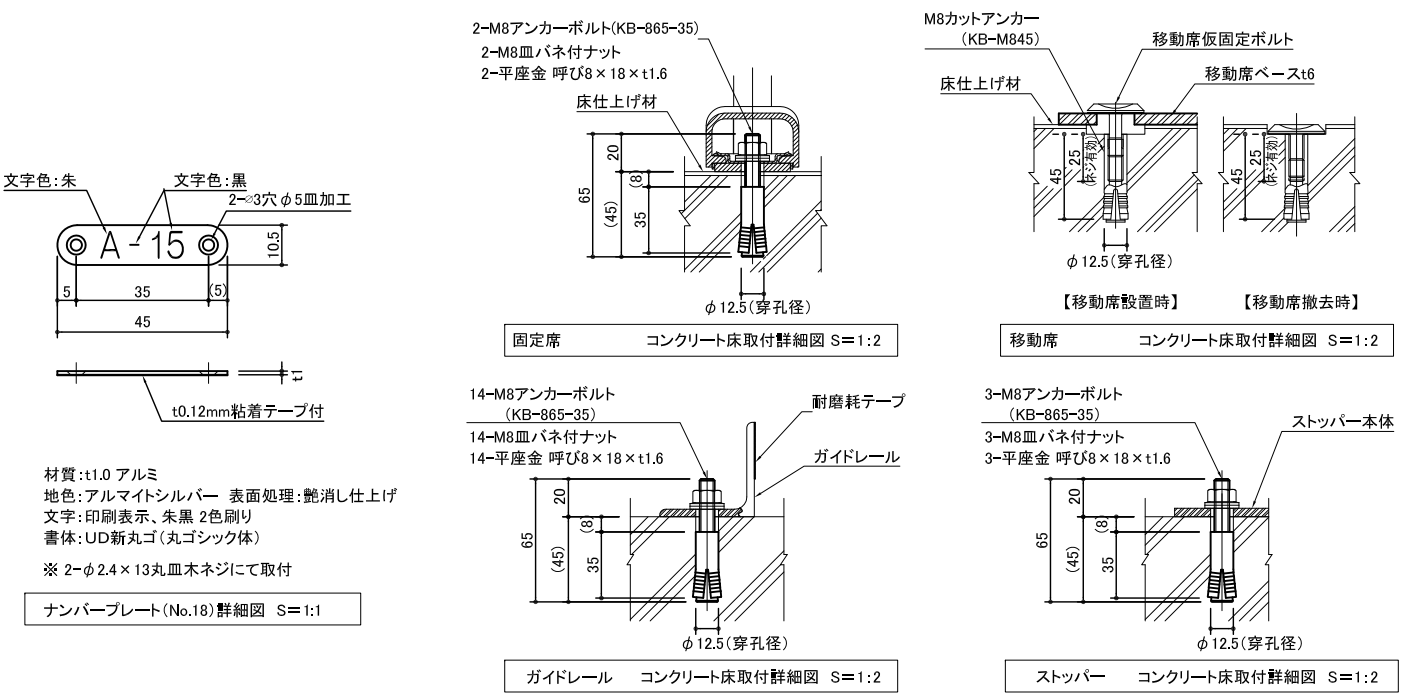


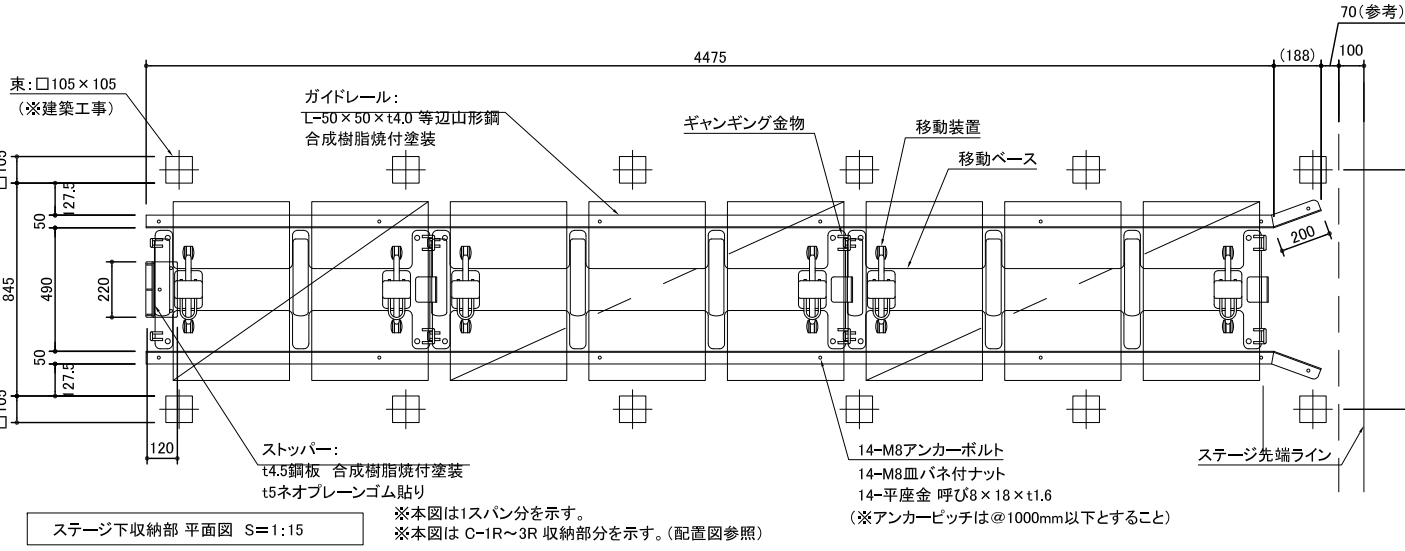
固定席、親子席 詳細図



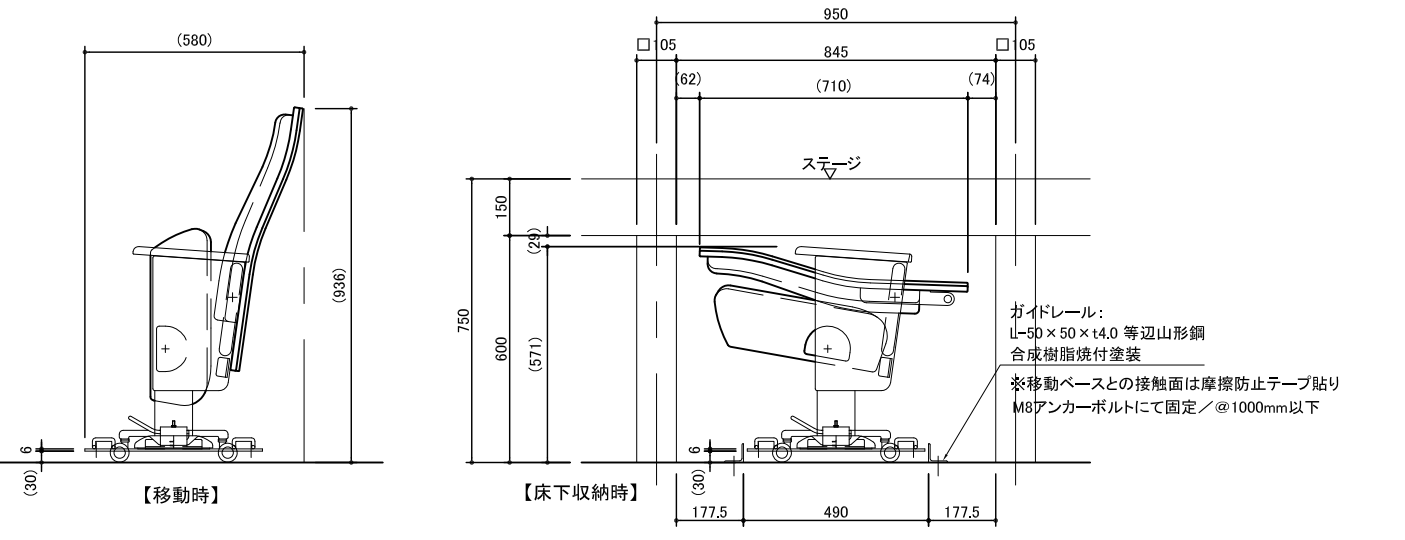
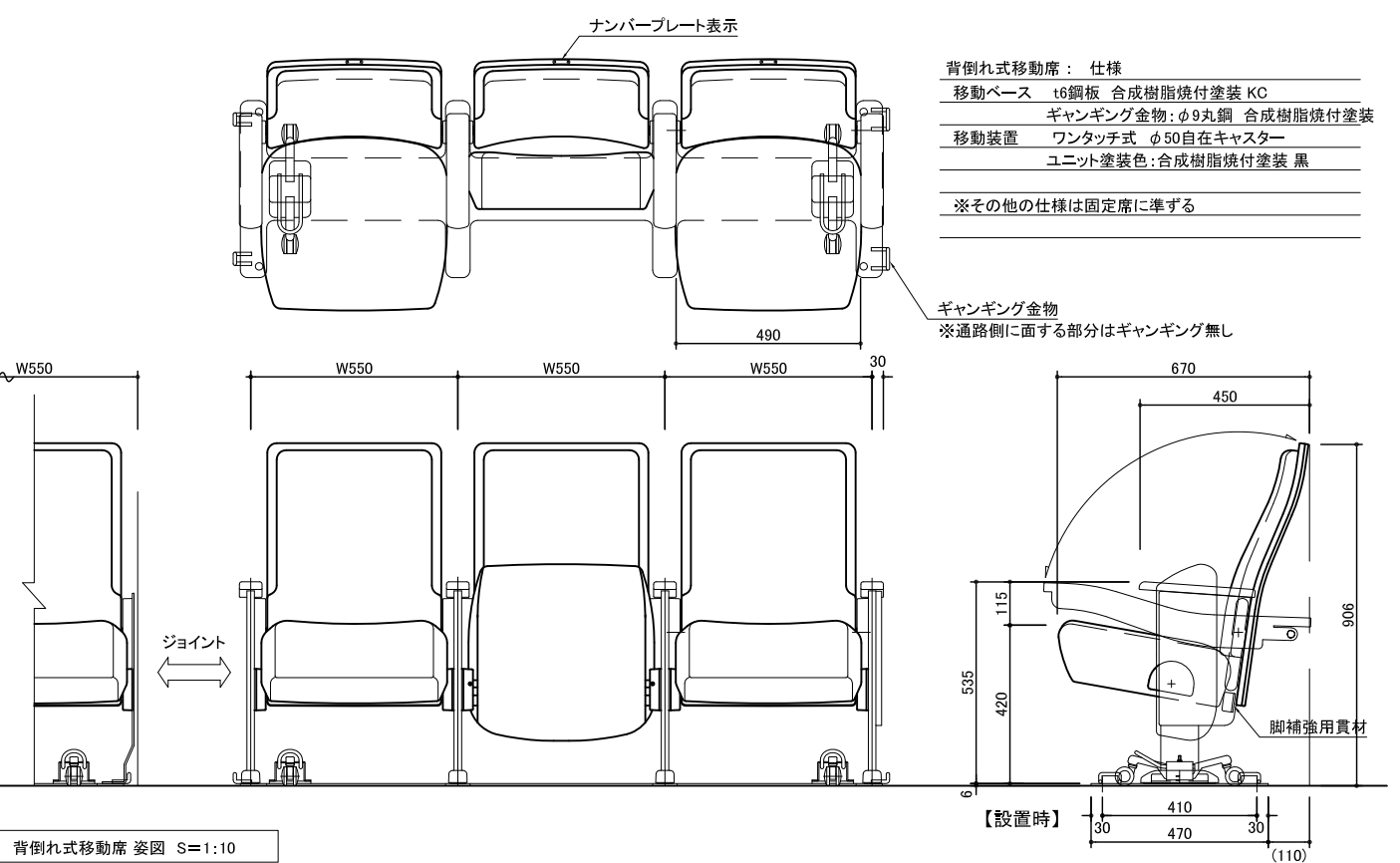
床取り付け 詳細図



移動席ステージ下部収納 詳細図



移動席 詳細図



舞台機構設備 特記仕様書																									
<p>I) 工事概要</p> <p>1. 工事項目</p> <p>2. 別途工事</p> <p>II) 工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>2. 適用基準</p>	<p>1) 舞台吊物機構装置納入据付 一式</p> <p>2) 操作盤および制御盤納入据付 一式</p> <p>3) 装置二次側配管配線工事 一式</p> <p>4) 舞台諸幕納入取付 一式</p> <p>1) 建築関連工事</p> <p>a) すの子鉄骨工事（階段・手摺含） 一式</p> <p>b) キャットウォーク 一式</p> <p>c) 床仕上げ工事（下地材含） 一式</p> <p>d) 客席天井内巻上機用架台、作業通路及びワイヤ貫通口 一式</p> <p>e) 緞帳本体工事 一式</p> <p>2) 設備関連工事</p> <p>a) 空調ダクト関係工事 一式</p> <p>b) スプリンクラ関係工事 一式</p> <p>c) 舞台照明工事 一式</p> <p>d) 舞台音響工事 一式</p> <p>e) 一般電気工事 一式</p> <p>f) 一次側電源工事 一式</p> <p>g) 緞帳工事 一式</p> <p>図面、特記仕様書及び現場説明書（質疑回答を含む）に記載されていない事項は下記の共通仕様による。</p> <p>・国土交通省大臣官庁官庁営繕部 公共建築工事標準仕様書（平成25年版）（建築工事編）（電気設備工事編）（機械設備工事編）</p> <p>指定のない引用基準類は、下記及び関連する政令、告示ならびに、これらに引用する基準類による。</p> <p>「建築基準法とその関係法、消防法とその関係法、電波関係法、労働安全衛生関係法、電気用品安全法、廃棄物処理法」</p> <p>「日本工業規格（JIS）、日本電気工業会標準規格（JEM）日本電気規格調査会標準規格（JEC）」</p> <p>「内線規定（日本電気協会）」</p> <p>「懸垂物安全指針・同解説（日本建築センター）」</p> <p>「吊物機構安全指針・同解説（社）劇場演出空間技術協会」</p> <p>「建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）」</p> <p>「劇場等演出空間電気設備指針（電気設備学会、劇場演出空間技術協会）」</p>	<p>III) 機器仕様書</p> <p>1. 電動昇降装置</p> <p>a. 巻上機</p> <p>電動機</p> <p>電動機は舞台機構設備仕様書に記載された性能を有する。</p> <p>減速機</p> <p>ウォーム式減速機又はギヤ式減速機とし、ウォーム軸・ヘルカルギヤ・ベベルギヤはS45C機械構造用炭素鋼（JIS G 4051相当）又はSCr415機械構造用合金鋼（JIS G 4053相当）を使用し、ウォームホイールは特殊銅合金を使用する。ウォーム軸・ウォームホイール・ヘルカルギヤ・ベベルギヤは専用歯切工作機で精密に機械加工する。減速機ケーシングは、FC-200ねずみ鋳鉄（JIS G 5501相当）を使い、専用工作機で精密加工し、上記の各種ギヤを円すいころ軸受け等を使用して組込む。入力軸・出力軸部は、組立て完了後試運転を行い、油漏れのないことを確認する。ウォーム式減速機で高減速比なものは、ウォームギヤとヘルカルギヤの組合せとし、ギヤ式減速機は、ヘルカリギヤとベベルギヤの組合せとする。いずれも低騒音型のものを使用する。</p> <p>制動機</p> <p>制動機本体は減速機本体（又は電動機本体）に組込み調整された構造とする。マグネットコイルの電磁作用によって、始動（通電時）および制動動作（無通電時）を行う。減速機がセルフロックしない場合は、2重化する。電源を遮断すると同時にコイルスプリングの作用によって、アーマチュアプレートが、ブレーキライニングを押付け、ハブを介して回転軸に制動力を伝達し、電動機の回転を停止させる。</p> <p>又、装置停止中は一定のスプリング力により制動動作を保持する。</p> <p>機械ベース</p> <p>各種駆動部品は、型钢により組立てられたベースに精密に組立てられ、油漏れ、騒音のないように仕上げ据付けを行う。尚、仕上げは塗装処理とする。</p> <p>巻取ドラム</p> <p>良質な鋼製又は、アルミ合金にてワイヤロープの径に適する溝を機械切り仕上げしたものである。</p> <p>b. ワイヤロープ</p> <p>ワイヤロープはJIS表示品またはこれと同等品以上のものとし、ワイヤにかかる荷重条件は、定格積載の吊物装置静止時においてJIS3号・4号による破断荷重の1/10以下とする。</p> <p>c. 滑車類</p> <p>滑車共通事項（元滑車・枝滑車・溝滑車）</p> <p>滑車のワイヤ溝とワイヤのなす角度は2度以下とする。ワイヤ溝は使用するワイヤロープに適した機械加工を施し、そのピッチ円直径は使用するワイヤロープ径の25倍以上とする。</p> <p>滑車類は装置の動作時に騒音（機械音、接触音）を発生しない構造とし、鋳鉄製、鋼製、又はナイロン樹脂製とする。</p> <p>d. バトンパイプ</p> <p>使用するバトンパイプには一般構造用鋼管（STKφ48.6-3.2t）を使用し、継ぎ手は2分割式の芯金を用いて芯金の直径をボルトにより変化させバトンパイプとフリクション接合を行う。この継ぎ手部は、パイプ間の隙間の無いものとし、曲げに対しては主材と同等以上の強度を持つものを使用する。</p> <p>マーキング</p> <p>バトンパイプは塗装仕上げ（SOP）とした上で、舞台中央部に二重線、中央から上手・下手それぞれの方向に1間ピッチに単線にてスケールマーキングを行うものとする。</p>	<p>エンドキャップ</p> <p>バトンパイプの両端部には白色のエンドキャップを取り付ける。</p> <p>名称・許容積載荷重表示</p> <p>道具バトンおよびライトバトンの両端部には名称および積載可能重量を表記する。</p> <p>積載可能重量はkgおよびNの併記とし、ライトバトンの積載可能重量はフライダクト等固定物を含まない純粋な積載重量のみを表示する。</p> <p>e. カーテンレール類</p> <p>カーテンレール</p> <p>カーテンレールはアルミ製成型品とし、幕重量に十分対応するものとする。</p> <p>カーテンレールは必要に応じてアルミ部に黒色粘着テープにより見切れ処置をする。</p> <p>キャリアローラー</p> <p>硬質樹脂製または金属製とし、円滑・容易に開閉できる機能とする。</p> <p>f. 塗装</p> <p>防火材料</p> <p>屋内の壁又は天井の仕上げ塗装仕上げは建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものを使用する。</p> <p>鉄面の素地ごしらえ</p> <table border="1"> <tr> <th>塗 装 面</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>・木部</td> <td>Ⓐ種 B種</td> </tr> <tr> <td>・鉄部</td> <td>A種 B種 Ⓒ種</td> </tr> </table> <p>錆止め塗装塗り</p> <table border="1"> <tr> <th>塗 装 面</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>・鉄面</td> <td>Ⓐ種 B種</td> </tr> </table> <p>合成樹脂顔合ペイント塗り（SOP）</p> <table border="1"> <tr> <th>塗 装 面</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>・鉄面</td> <td>A種 Ⓑ種</td> </tr> </table> <p>クリアラッカー塗り（CL）</p> <table border="1"> <tr> <th>塗 装 面</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>・木面</td> <td>A種 Ⓑ種</td> </tr> </table>	塗 装 面	種 別	・木部	Ⓐ種 B種	・鉄部	A種 B種 Ⓒ種	塗 装 面	種 別	・鉄面	Ⓐ種 B種	塗 装 面	種 別	・鉄面	A種 Ⓑ種	塗 装 面	種 別	・木面	A種 Ⓑ種	<p>2. 電気工事仕様</p> <p>a. 電源周波数</p> <p>50Hz</p> <p>b. 制御盤</p> <p>各装置の使用目的に適応した起動、停止、通過、減速インターロック等に必要な配線用遮断器、電磁接触器タイマ、リレー、端子台等を組立てる。外部との結線は、端子台で行うものとし、箱体に堅固に固定すること。盤構造は屋内設置用閉鎖自立簡易防塵構造とし、前面保守を原則とする。</p> <p>c. 操作盤</p> <p>舞台機構装置を確実に操作できるよう配列デザインし、必要な操作鈕、表示装置等を組み込む。</p> <p>副作用としてマニュアル運転鈕関連とコンピュータ設定関係の部品を配列する。押し鈕は自照式とし、吊物の状態を点灯にて表示するものとする。</p> <p>安全のための非常停止回路を組み込むこと。</p> <p>d. 配管・配線</p> <p>電線、ケーブル、電線管、電線及付属品はJISマーク表示品とし、動力関係の主要な部分については、配線は金属管又はワイヤリングダクトに通線するものとする。分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、管径などは図面と相違しても差いつかえない。ただし、監督職員の承諾を受けるものとする。</p> <p>e. 金属管の塗装</p> <p>露出配管は原則塗装をおこなうこと。</p> <p>a. インターロック</p> <p>音響反射板とそれ以外の吊物装置の安全を図るために、衝突・干渉防止を目的とした電氣的インターロックを行う。</p> <p>b. 過負荷防止装置</p> <p>積載量表示が設定されている装置に設け、荷重が適正値を超えた場合に自動的に駆動装置を停止させる。</p> <p>a. ミツ折緞帳</p> <p>材料</p> <p>西陣織を使用する。</p> <p>デザイン</p> <p>緞帳のデザイン画は、専門メーカーにより複数案の作成を行い、横浜市等と十分な協議を行った後に決定とする。</p> <p>仕上げ寸法</p> <p>間口(W)×高さ(H)を基準とし“ヒダなし”とする。</p> <p>製作</p> <p>布地は色合わせをし、寸法通りに入念に裁断巾縫縫製加工し上部には50mmの綿テープに巾30mm、長さ800mmのテープを二つ折りにして250mm間隔に縫い付けた物をカ布地として縫い付ける。</p> <p>裏地は綿布9Aを使用する。</p> <p>中間及び裾パイプ袋は綿布10Aを使用し、300mm巾を二つ折り袋加工したものを取り付ける。</p> <p>落下防止対策として裾パイプを上部バトンパイプにロープにて固定する。又、上部バトンパイプと緞帳地をワイヤロープにて固定する。</p>	<p>3. 安全対策</p> <p>4. 舞台幕</p>	<p>a. 電源周波数</p> <p>50Hz</p> <p>b. 制御盤</p> <p>各装置の使用目的に適応した起動、停止、通過、減速インターロック等に必要な配線用遮断器、電磁接触器タイマ、リレー、端子台等を組立てる。外部との結線は、端子台で行うものとし、箱体に堅固に固定すること。盤構造は屋内設置用閉鎖自立簡易防塵構造とし、前面保守を原則とする。</p> <p>c. 操作盤</p> <p>舞台機構装置を確実に操作できるよう配列デザインし、必要な操作鈕、表示装置等を組み込む。</p> <p>副作用としてマニュアル運転鈕関連とコンピュータ設定関係の部品を配列する。押し鈕は自照式とし、吊物の状態を点灯にて表示するものとする。</p> <p>安全のための非常停止回路を組み込むこと。</p> <p>d. 配管・配線</p> <p>電線、ケーブル、電線管、電線及付属品はJISマーク表示品とし、動力関係の主要な部分については、配線は金属管又はワイヤリングダクトに通線するものとする。分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、管径などは図面と相違しても差いつかえない。ただし、監督職員の承諾を受けるものとする。</p> <p>e. 金属管の塗装</p> <p>露出配管は原則塗装をおこなうこと。</p> <p>a. インターロック</p> <p>音響反射板とそれ以外の吊物装置の安全を図るために、衝突・干渉防止を目的とした電氣的インターロックを行う。</p> <p>b. 過負荷防止装置</p> <p>積載量表示が設定されている装置に設け、荷重が適正値を超えた場合に自動的に駆動装置を停止させる。</p> <p>a. ミツ折緞帳</p> <p>材料</p> <p>西陣織を使用する。</p> <p>デザイン</p> <p>緞帳のデザイン画は、専門メーカーにより複数案の作成を行い、横浜市等と十分な協議を行った後に決定とする。</p> <p>仕上げ寸法</p> <p>間口(W)×高さ(H)を基準とし“ヒダなし”とする。</p> <p>製作</p> <p>布地は色合わせをし、寸法通りに入念に裁断巾縫縫製加工し上部には50mmの綿テープに巾30mm、長さ800mmのテープを二つ折りにして250mm間隔に縫い付けた物をカ布地として縫い付ける。</p> <p>裏地は綿布9Aを使用する。</p> <p>中間及び裾パイプ袋は綿布10Aを使用し、300mm巾を二つ折り袋加工したものを取り付ける。</p> <p>落下防止対策として裾パイプを上部バトンパイプにロープにて固定する。又、上部バトンパイプと緞帳地をワイヤロープにて固定する。</p>	<p>b. 引割暗転幕・袖幕・中割幕・一文字幕</p> <p>材料</p> <p>ウールサージを使用する。</p> <p>仕上げ寸法</p> <p>間口(W)×高さ(H)を基準とし“ヒダなし”とする。</p> <p>製作</p> <p>布地は色合わせをし、寸法通りに入念に裁断巾縫縫製加工し上部には50mmの綿テープに巾30mm、長さ700mmのテープを二つ折りにして300mm間隔に縫い付けた物をカ布地として縫い付ける。</p> <p>据上げは110mm折り返し、ミツ折縫いとし、リードウェイトを入れる。一文字幕に関しては135mm折り返し、ミツ折縫いをし、下パイプを入れる。脇部は150mm折り返し、ミツ折縫いとする。</p> <p>c. ホリゾン幕</p> <p>材料</p> <p>綿11号帆布を使用する。</p> <p>仕上げ寸法</p> <p>間口(W)×高さ(H)を基準とし“ヒダなし”とする。</p> <p>製作</p> <p>布地の色合わせをし、寸法通りに入念に巾縫縫製加工し、上部には巾40mmの綿テープをカ布として縫い付けし、これに巾20mm、長さ680mmの綿テープを二つ折にし300mm間隔に堅固に縫い付けるものとする。幕裾は、仕上がり寸法下端から300mm程度のところに、下パイプ袋として片側135mmの袋状に縫製する。中間パイプ袋も同様とする。脇部は100mm折り返し、ミツ折縫いとす。</p> <p>取付</p> <p>舞台機構施工業者の指示により、所定のパイプに幕上部の綿テープを堅固に据付ける。</p> <p>防災</p> <p>（財法）日本防災協会認定されたものを使用する。又、幕裏面に防災ラベルを貼付ける。</p>
塗 装 面	種 別																								
・木部	Ⓐ種 B種																								
・鉄部	A種 B種 Ⓒ種																								
塗 装 面	種 別																								
・鉄面	Ⓐ種 B種																								
塗 装 面	種 別																								
・鉄面	A種 Ⓑ種																								
塗 装 面	種 別																								
・木面	A種 Ⓑ種																								

■注記)

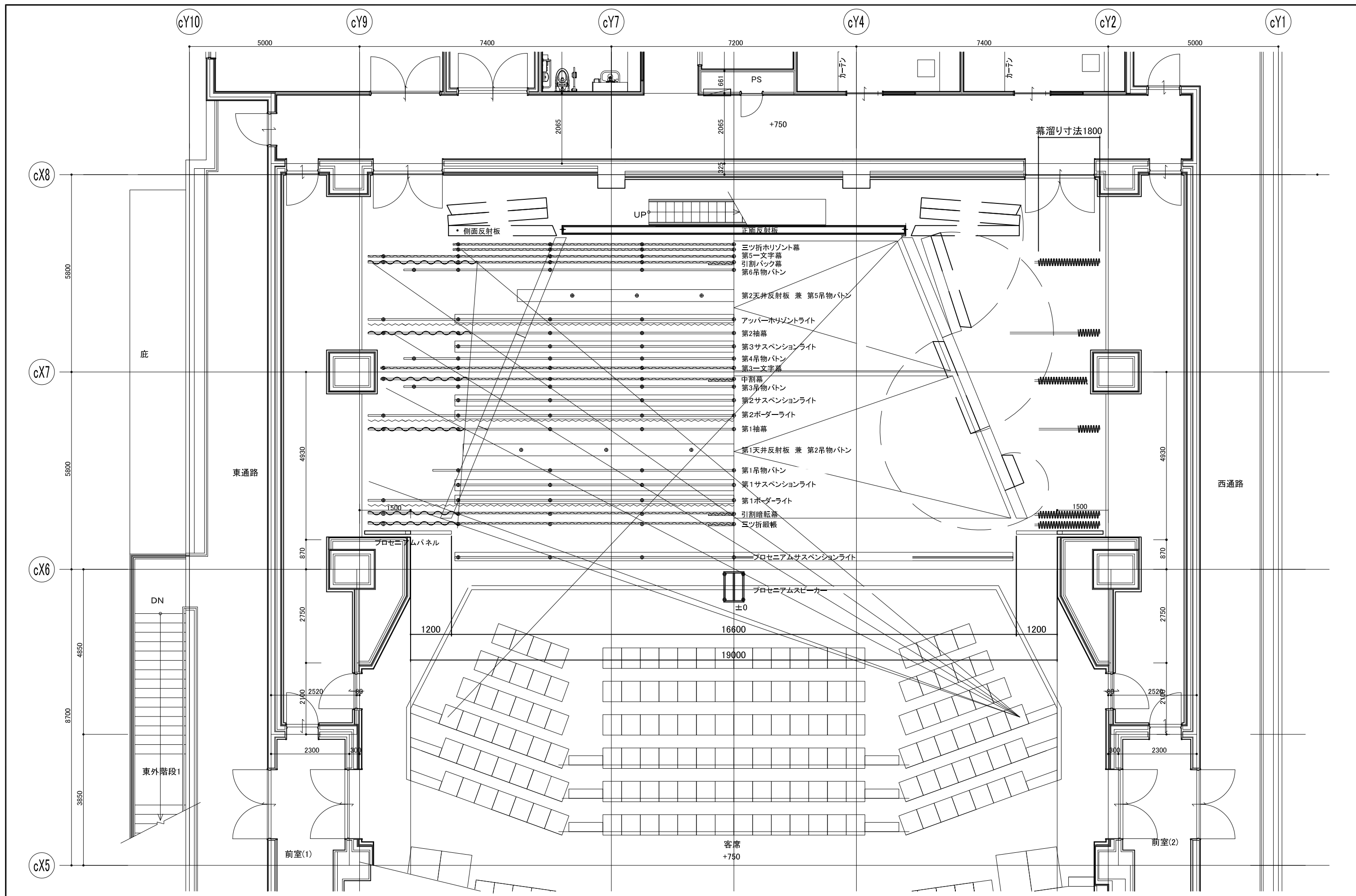
管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市 建築局				工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)			
年月日	平成28年8月	縮尺	A3=1/100 A3=1/200		図面名称	舞台機構設備特記仕様書			
	設計者	施設番号	棟番号	完成年度	図面種類	図面枚数	図面番号		
	株式会社 国設計				巻数				SE-001

ホール吊物装置仕様書

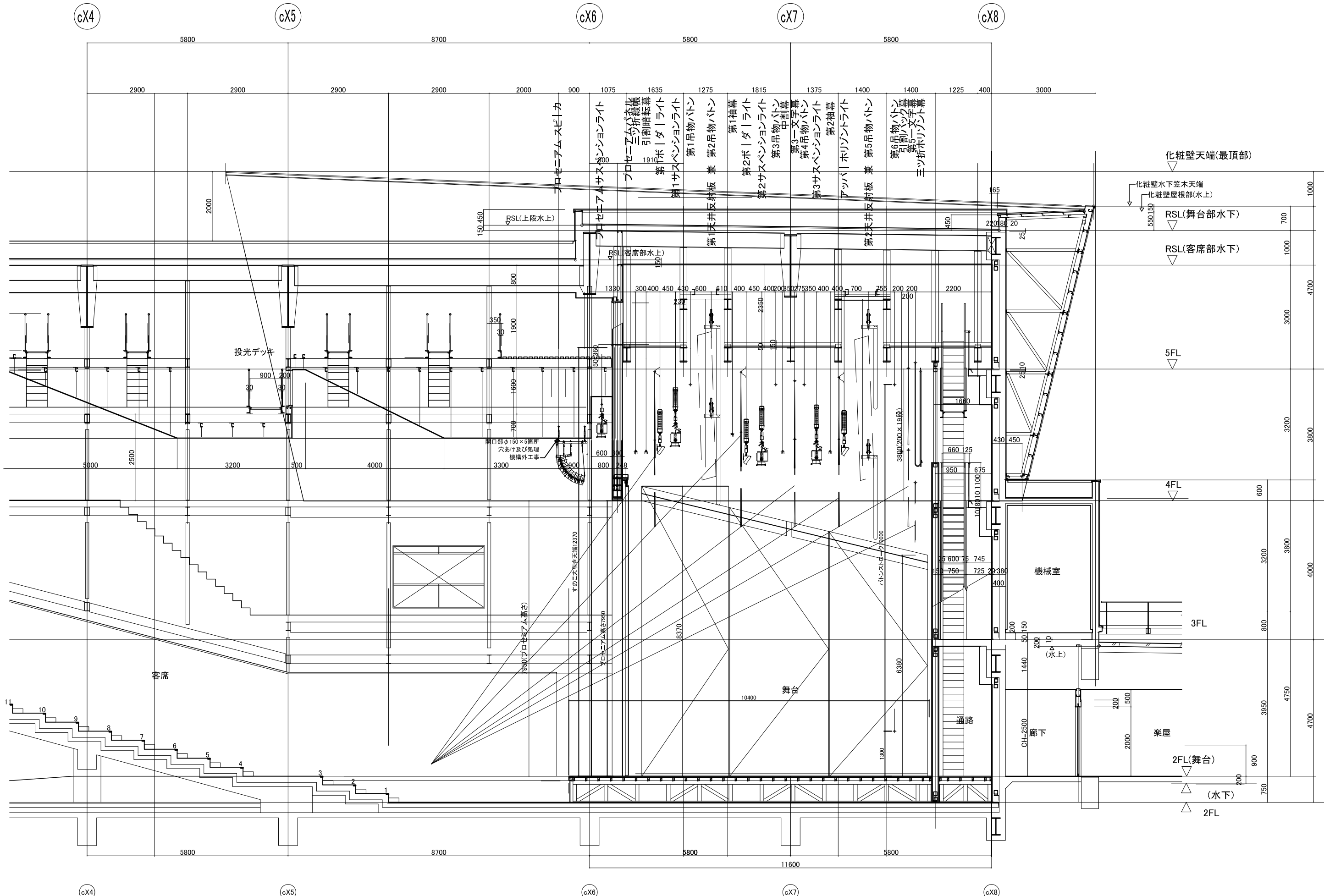
No.	名称	操作方式		バトン径 φ (mm)	バトン長 (mm)	速度 (m/min)	ストローク (mm)	吊質量 (kg)			動力 (kW)	ワイヤロープ		1点当たりの質量 (kg)	ワイヤロープ安全率 = 破断質量*吊点数/吊質量	方式	幕仕様			位置 設定・表示	積載量 表示	乗り上げ 引っ掛け 停止機能	備考
		昇降	開閉 /傾斜					固定 (機構)	積載	合計		吊点	径 (mm)				幕地	ヒダ数	寸法 高さ×幅 (mm)				
1	三ツ折縦帳 前吊	電動	—	48.6	21500	8.3	3000	300	970	1270	2.2	9	6	141.2	$(\frac{1845 * 9}{1270}) = 13.1$	巻取式	西陣織	ヒダなし	9000×21500	—	—	—	
	三ツ折縦帳 後吊	電動	—	42.7	21500	25	9250	200	645	845	5.5	9	5	83.3	$(\frac{1250 * 9}{845}) = 13.4$	巻取式	—	—	—	—	—	—	
2	引割暗転幕 昇降	電動	—	48.6	21500	6	10000	350	—	350	0.75	9	4	38.9	$(\frac{818 * 9}{350}) = 21$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	9200×11500×2	—	—	—	
	引割暗転幕 開閉	—	電動	—	カーテンレール 11500*2	20	9750	—	—	—	0.4	—	4	—	$(\frac{— * —}{—}) = —$	巻取巻戻式	—	—	—	—	—	—	
3	第1ボーダーライト	電動	—	48.6	21500	10	8500	100	600	700	2.2	9	6	77.8	$(\frac{1845 * 9}{700}) = 23.7$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	2500×21500	○	○	○	第1—文字幕共吊り
4	第1サスペンションライト	電動	—	48.6	16400	10	8500	100	800	900	3.7	7	6	128.6	$(\frac{1845 * 7}{900}) = 14.3$	巻取式	—	—	—	○	○	○	
5	第1吊物バトン	電動	—	48.6	17700	15	9000	100	500	600	2.2	7	6	85.8	$(\frac{1845 * 7}{600}) = 21.5$	巻取式	—	—	—	○	○	○	
6	第1天井反射板兼第2吊物バトン 昇降	電動	—	—	—	3	8000	5200	—	5200	3.7*2	6*2	10	433.4	$(\frac{4670 * 12}{5,200}) = 10.7$	巻取式	—	—	—	—	—	—	
	第1天井反射板兼第2吊物バトン 傾斜	—	電動	—	—	1.5	2500	1000	—	1000	0.75	6	6	166.7	$(\frac{1845 * 6}{1,000}) = 11$	巻取式	—	—	—	—	—	—	
7	第1袖幕 昇降	電動	—	48.6	21500	6	10000	200	—	200	0.75	9	4	22.3	$(\frac{818 * 9}{200}) = 36.8$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	9200×4000	—	—	—	
	第1袖幕 開閉	—	手動	—	レール 4000*2	—	3500	—	—	—	—	—	4	—	$(\frac{— * —}{—}) = —$	手引式	—	—	—	—	—	—	
8	第2ボーダーライト	電動	—	48.6	21500	10	8500	100	600	700	2.2	9	6	77.8	$(\frac{1845 * 9}{700}) = 23.7$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	2700×21500	○	○	○	第2—文字幕共吊り
9	第2サスペンションライト	電動	—	48.6	16400	10	8500	100	800	900	3.7	7	6	128.6	$(\frac{1845 * 7}{900}) = 14.3$	巻取式	—	—	—	○	○	○	
10	第3吊物バトン	電動	—	48.6	19400	15	8500	100	500	600	2.2	9	6	66.7	$(\frac{1845 * 9}{600}) = 27.6$	巻取式	—	—	—	○	○	○	
11	中割幕 昇降	電動	—	48.6	20700	6	10000	350	—	350	0.75	9	4	38.9	$(\frac{818 * 9}{350}) = 21$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	9800×11100×2	—	—	—	
	中割幕 開閉	—	電動	—	カーテンレール 11100*2	20	9750	—	—	—	0.4	—	4	—	$(\frac{— * —}{—}) = —$	巻取巻戻式	—	—	—	—	—	—	
12	第3—文字幕	電動	—	48.6	20700	10	9000	150	450	600	2.2	9	6	66.7	$(\frac{1845 * 9}{600}) = 27.6$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	2500×20700	○	○	○	
13	第4吊物バトン	電動	—	48.6	19400	15	9000	100	500	600	2.2	9	6	66.7	$(\frac{1845 * 9}{600}) = 27.6$	巻取式	—	—	—	○	○	○	
14	第3サスペンションライト	電動	—	48.6	16400	10	8500	100	800	900	3.7	7	6	128.6	$(\frac{1845 * 7}{900}) = 14.3$	巻取式	—	—	—	○	○	○	
15	第2袖幕	電動	手動	48.6	21500	6	10000	200	—	200	0.75	9	4	22.3	$(\frac{818 * 9}{200}) = 36.8$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	9200×4000	—	—	—	
	第2袖幕 開閉	—	手動	—	レール 4000*2	—	3500	—	—	—	—	—	4	—	$(\frac{— * —}{—}) = —$	手引式	—	—	—	—	—	—	
16	アッパーホリゾンライト	電動	—	48.6	21500	10	8500	100	800	900	3.7	9	6	100	$(\frac{1845 * 9}{900}) = 18.4$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	2500×21500	○	○	○	第4—文字幕共吊り
17	第2天井反射板兼第5吊物バトン 昇降	電動	—	—	18000	3	8000	4000	—	4000	2.2*2	6*2	10	333.4	$(\frac{4670 * 12}{4,000}) = 14$	巻取式	—	—	—	—	—	—	
	第2天井反射板兼第5吊物バトン 傾斜	—	電動	—	—	1.5	2500	1000	—	1000	0.75	6	6	166.7	$(\frac{1845 * 6}{1,000}) = 11$	巻取式	—	—	—	—	—	—	
18	第6吊物バトン	電動	—	48.6	19400	15	9000	100	500	600	2.2	9	6	66.7	$(\frac{1845 * 9}{600}) = 27.6$	巻取式	—	—	—	○	○	○	
19	引割バック幕 昇降	電動	—	48.6	21500	6	10000	350	—	350	0.75	9	4	38.9	$(\frac{818 * 9}{350}) = 21$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	9200×11500×2	—	—	—	
	引割バック幕 開閉	—	電動	—	カーテンレール 11100*2	20	9750	—	—	—	0.4	—	4	—	$(\frac{— * —}{—}) = —$	巻取巻戻式	—	—	—	—	—	—	
20	第5—文字幕	電動	—	48.6	21500	10	9000	150	450	600	2.2	9	6	66.7	$(\frac{1845 * 9}{600}) = 27.6$	巻取式	ウールサージ	ヒダなし	2200×21500	○	○	○	
21	三ツ折ホリゾン幕 前吊	電動	—	48.6	16500	6	3500	200	—	200	0.75	7	4	28.6	$(\frac{818 * 7}{200}) = 28.6$	巻取式	11号帆布	ヒダなし	8500×16500	—	—	○	
22	側面反射板	手動	—	—	—	—	4500	—	—	—	—	—	—	$(\frac{— * —}{—}) = —$	旋回式	—	—	—	—	—	—		
23	正面反射板	固定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	$(\frac{— * —}{—}) = —$	—	—	—	—	—	—	—	建築工事	
24	プロセニウムサスペンションライト	手動	—	48.6	16400	10	9500	100	800	900	3.7	7	6	128.6	$(\frac{1845 * 7}{900}) = 14.3$	巻取式	—	—	—	○	○	○	
25	プロセニウムスピーカ	電動	—	48.6	900*600	5	8135	25	80	105	0.4	4	4	26.3	$(\frac{818 * 4}{105}) = 31.2$	巻取式	—	—	—	—	—	○	
26	プロセニウムパネル 上手・下手	—	手動	—	—	—	—	400	—	400	—	—	—	$(\frac{— * —}{—}) = —$	手押式	—	—	—	—	—	—		

■注記

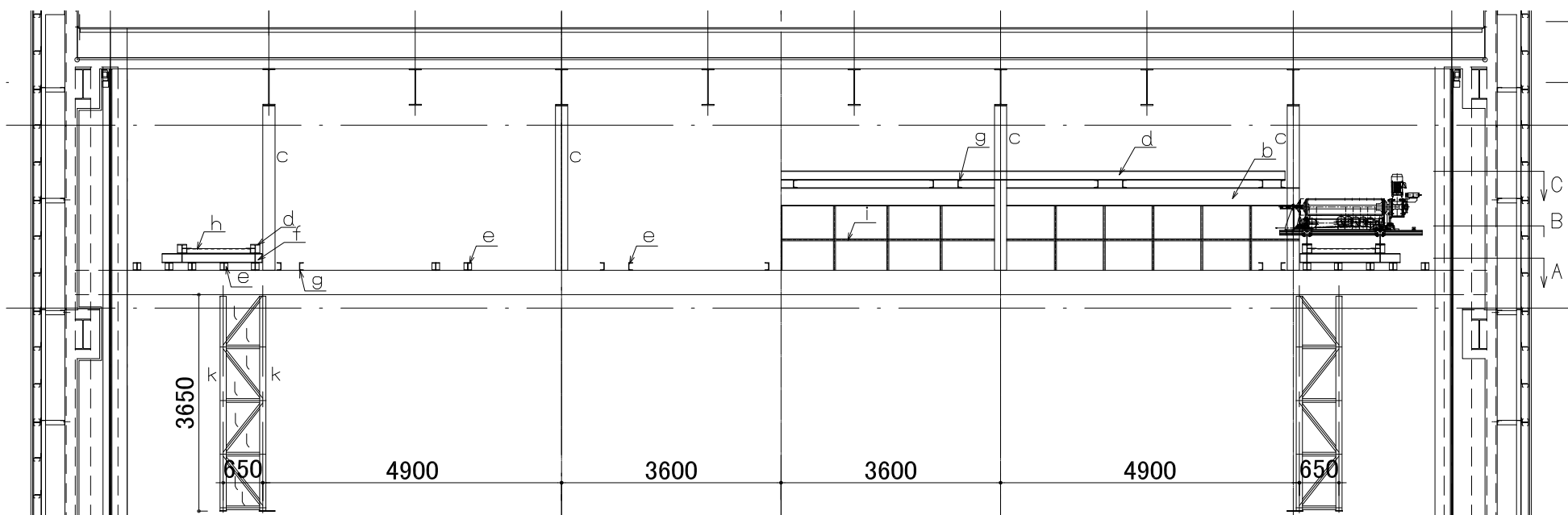
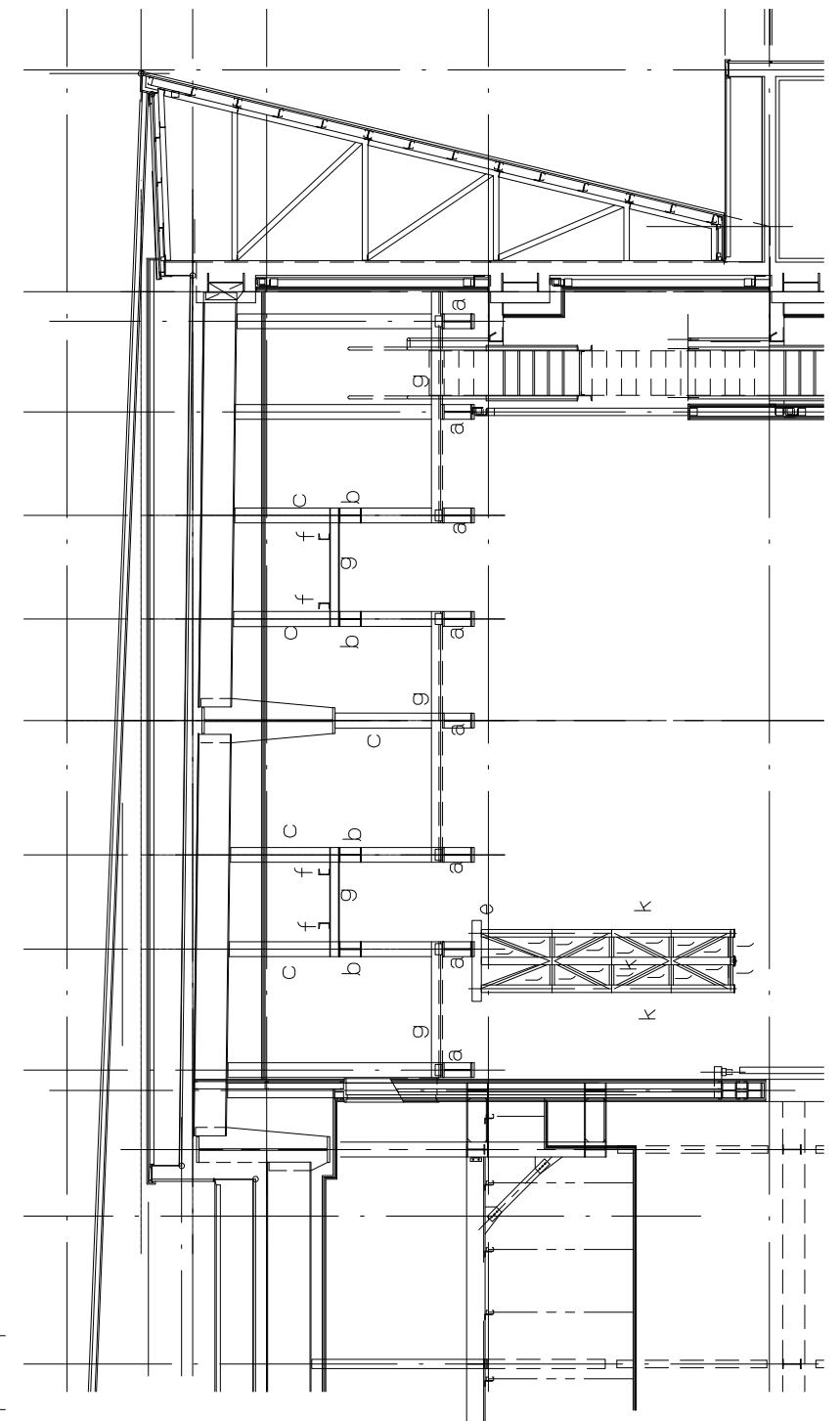
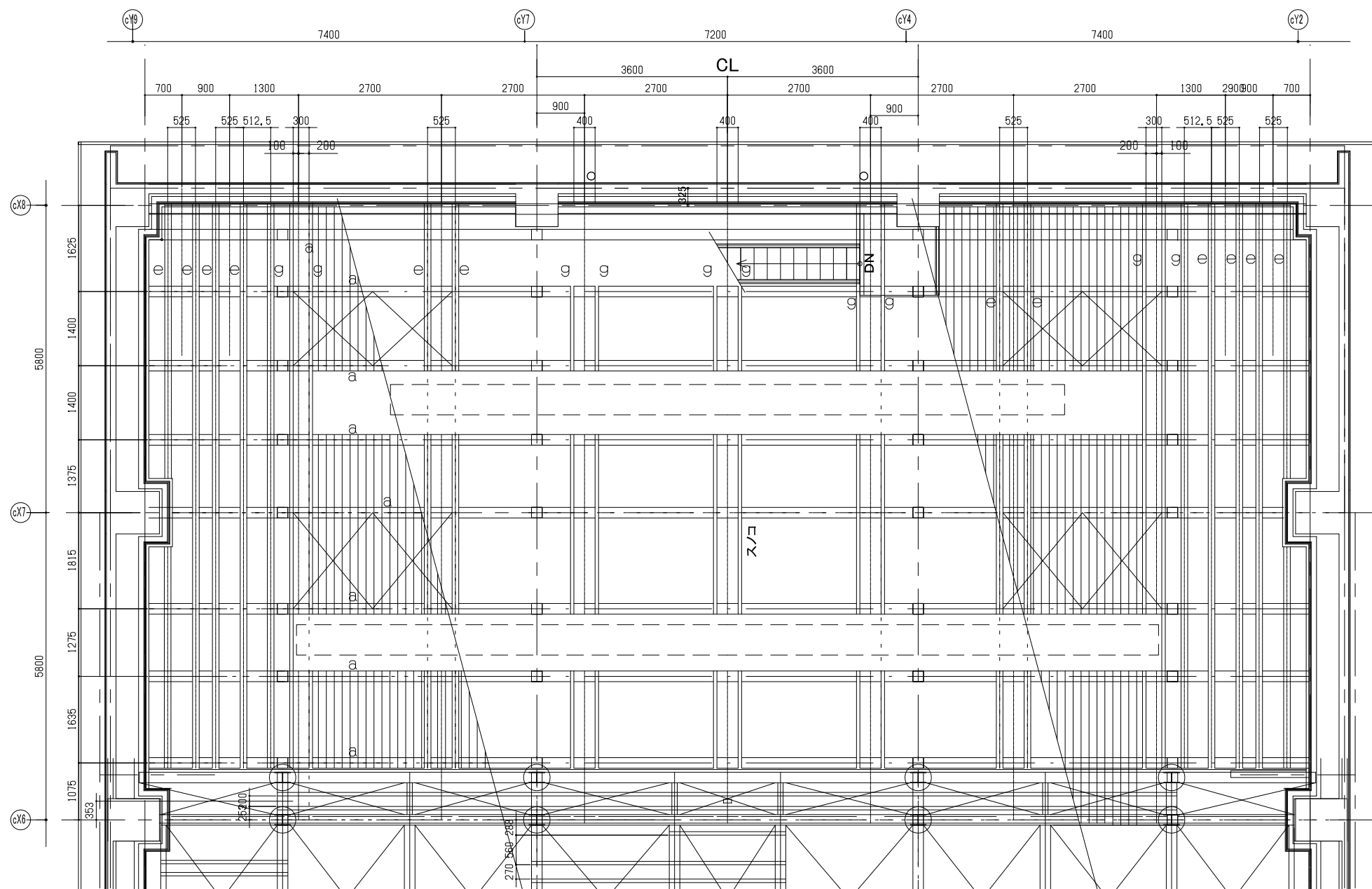
管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市 建築局	工 事 名 金沢区総合庁舎改築工事 (第3工区建築工事)
年月日 平成28年8月	種 別 A1=1/100 A3=1/200	図面名称 舞台機構吊物装置仕様書
設 計 者 株式会社 国 設 計	図面番号 SE-002	



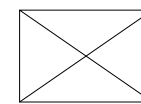
管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/50 A3=1/100	図面名称 舞台機構平面詳細図
設計者	株式会社 国設計	図面枚数 図面番号
		SE-003



■注記)		管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫		横浜市建築局		工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)	
年月日	平成28年8月	縮尺	A1=1/50 A3=1/100	図面名称 舞台機構断面詳細図		図面番号	SE-004
設計者	株式会社 国設計	図面枚数		図面枚数		図面番号	



凡例：搬入口 2×4箇所



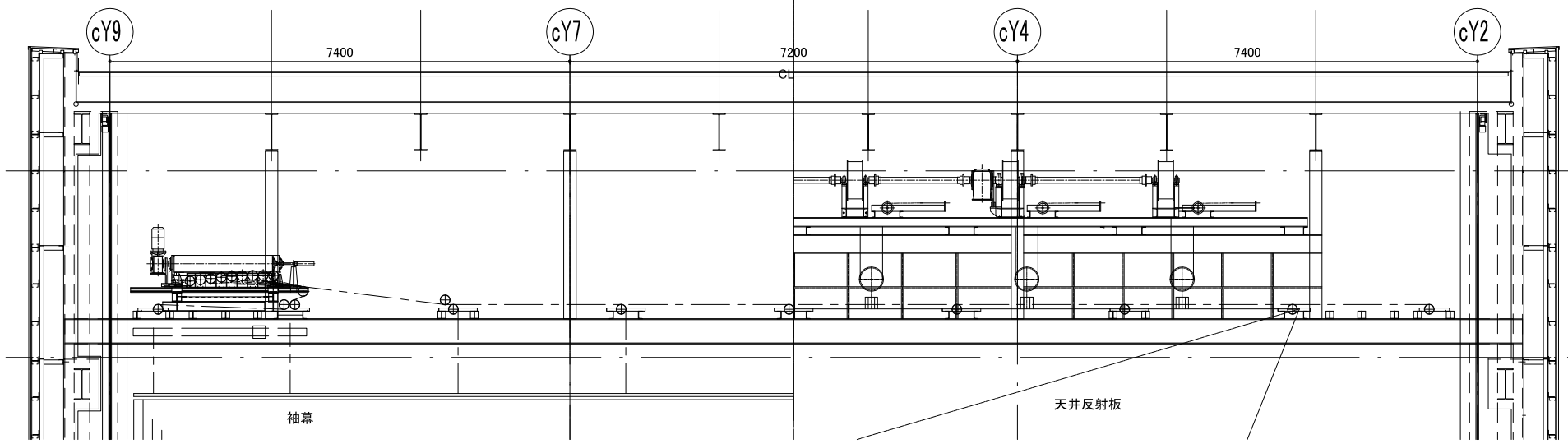
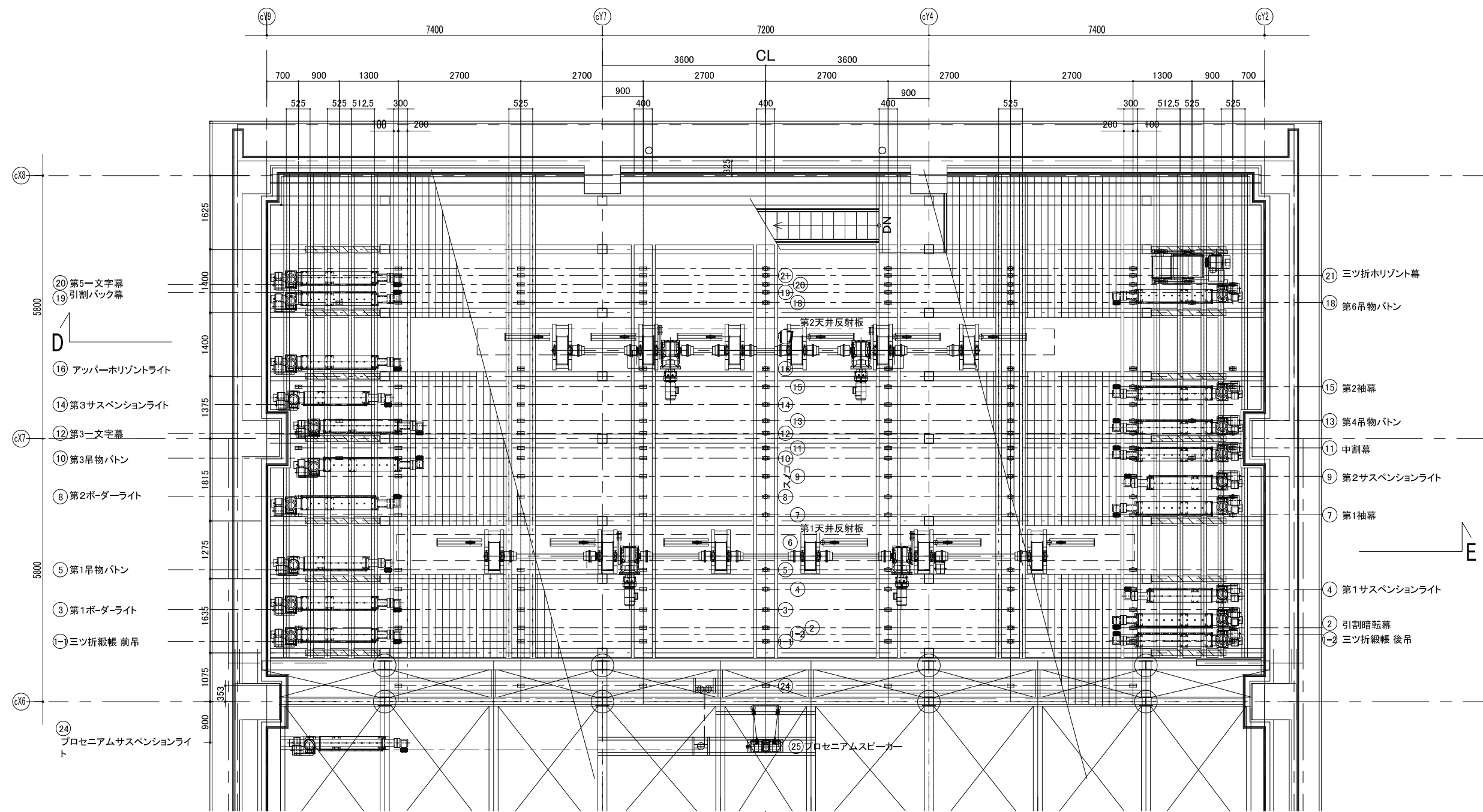
部材表（建築工事）

符号	部材	備考
a	H400×200×8×13	
b	H300×200×8×12	
c	H200×200×8×12	
d	H150×150×7×10	
e	H125×125×6.5×10	
f	[150×75×6.5×9	
g	[125×65×6×8	
h	L75×75×6	
i	φ34×2.3	手摺
j	C100×50×20×2.3 φ150	全面スノコ張り 現場溶接
k	φ101.6×6	
l	φ60.5×6	
m	L65×65×5	

部材接合はH, T, B締め及び溶接
部材は全て防錆塗装の上OP仕上げ

■注記

管理建築士 一級建築士 登録第186404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/1000 A3=1/1000	図面名称 舞台機構スノコ機器配置図
設計者 株式会社 国設計	図面枚数 1	図面番号 SE-005

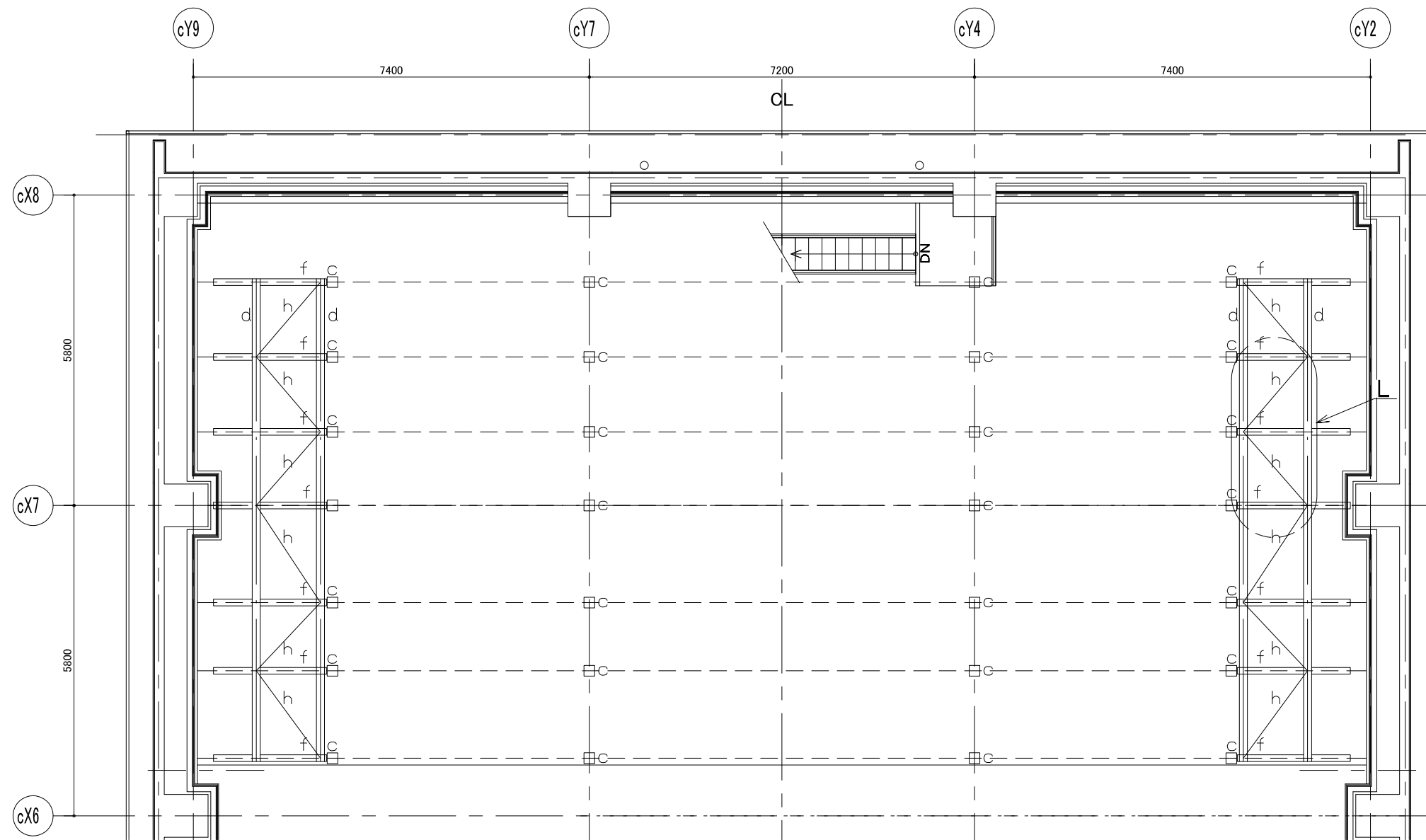


D矢視図

E矢視図

■注記

管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/1000 A3=1/1000	図面名称 舞台機構スノコ詳細図(1)
設計者 株式会社 国設計	図面枚数 1/1	図面番号 SE-006

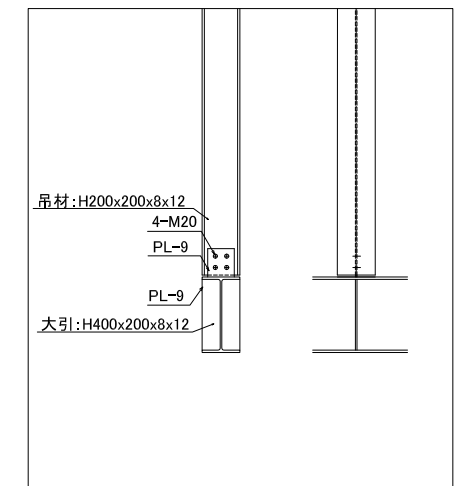


B矢視図 S=1:50

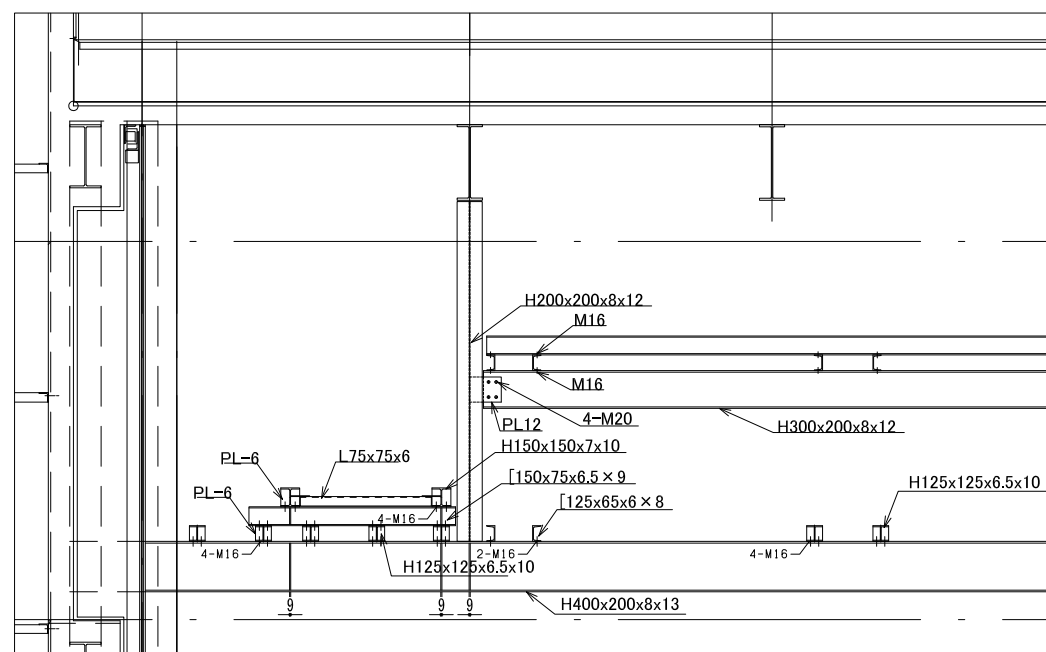
部材表(建築工事)

符号	部材	備考
a	H400x200x8x13	
b	H300x200x8x12	
c	H200x200x8x12	
d	H150x150x7x10	
e	H125x125x6.5x10	
f	[150x75x6.5x9	
g	[125x65x6x8	
h	L75x75x6	
i	φ34x2.3	手摺
j	C100x50x20x2.3@150	全面スノコ張り 現場溶接
k	φ101.6x6	
l	φ60.5x6	
m	L65x65x5	

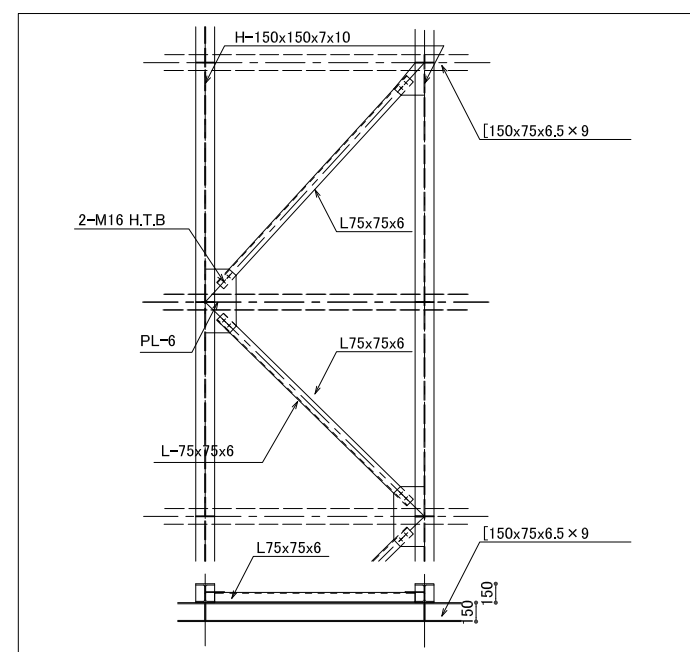
部材接合はH, T, B締め
部材は全て防錆塗装の上OP仕上げ



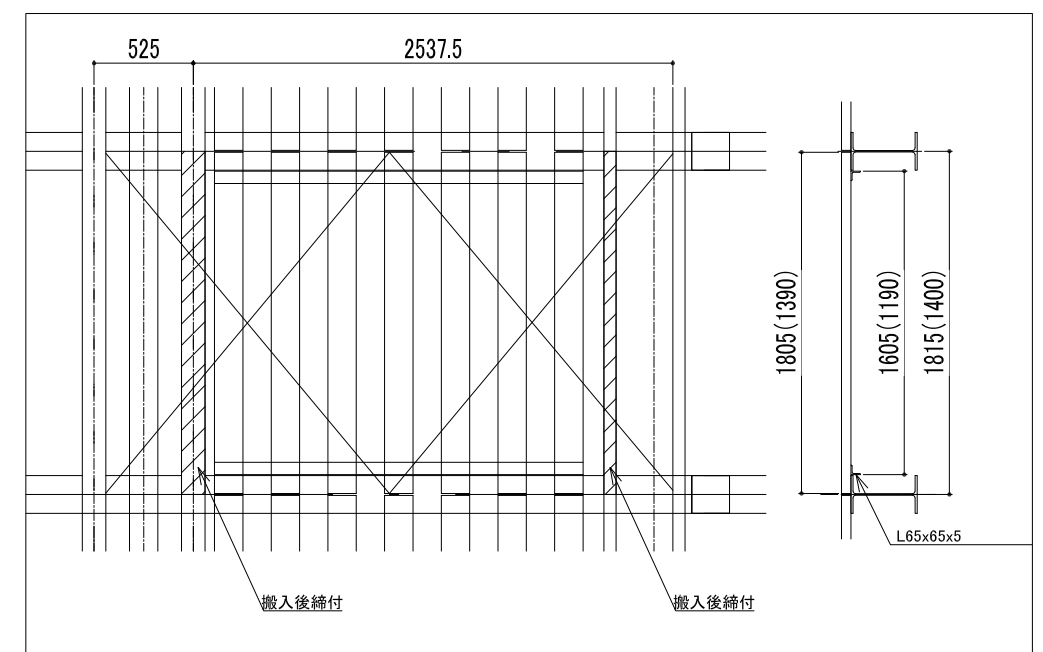
吊材詳細図 S=1:20



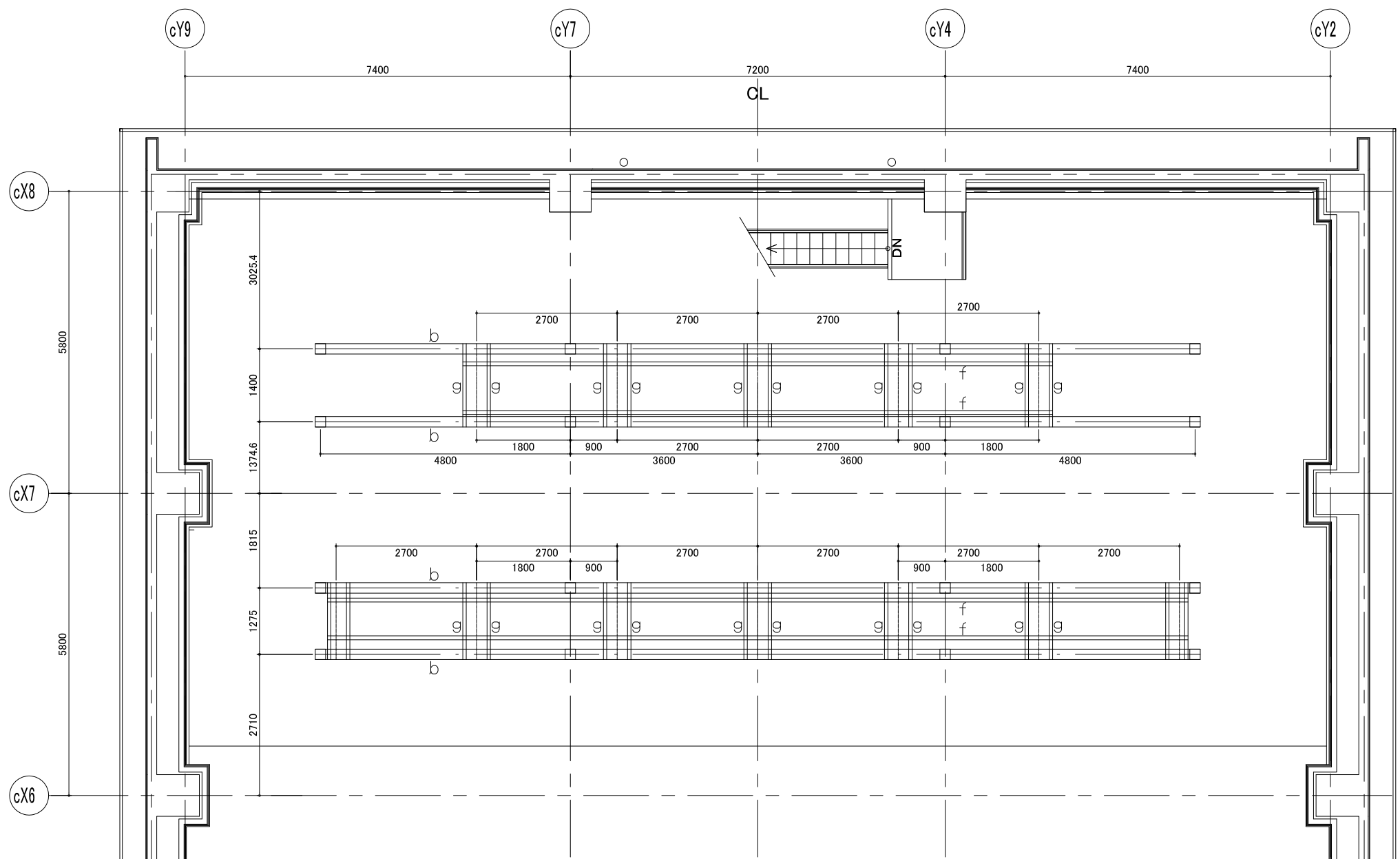
巻上機取付材廻り詳細図 S=1:30



L部詳細図 S=1:30



搬入口詳細図 S=1:20

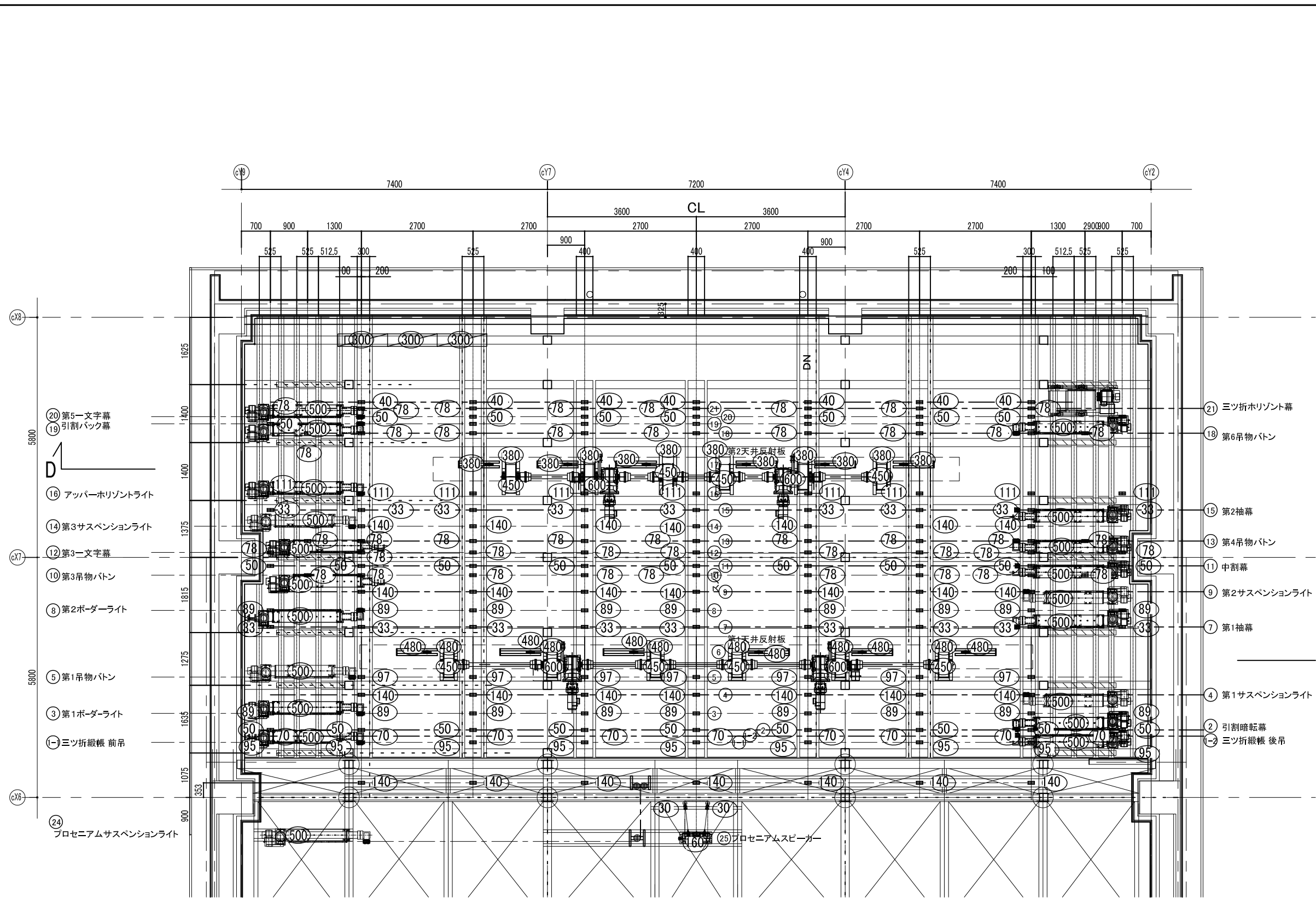


C矢视图

部材表(建築工事)

符号	部材	備考
a	H400x200x8x13	
b	H294x200x8x12	
c	H200x200x8x12	
d	H150x150x7x10	
e	H125x125x6.5x9	
f	[150x75x6.5 × 10	
g	[125x65x6 × 8	
h	L75x75x6	
j	C100x50x20x2.3 @150	全面スノコ張り 現場溶接
k	φ 101.6 × 6	
l	φ 60.5 × 6	
m	L65x65x5	

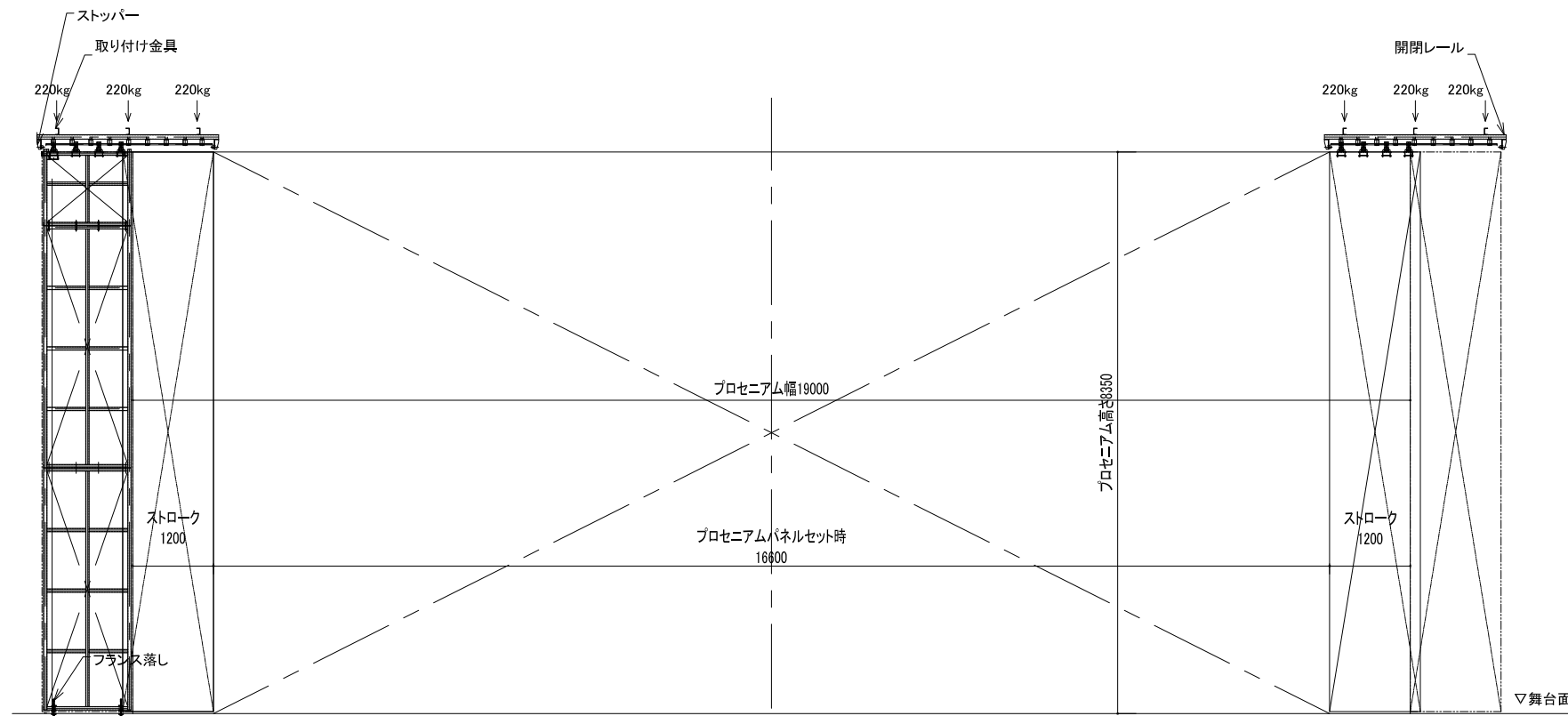
部材接合はH, T, B締め及び溶接
部材は全て防錆塗装の上OP仕上げ



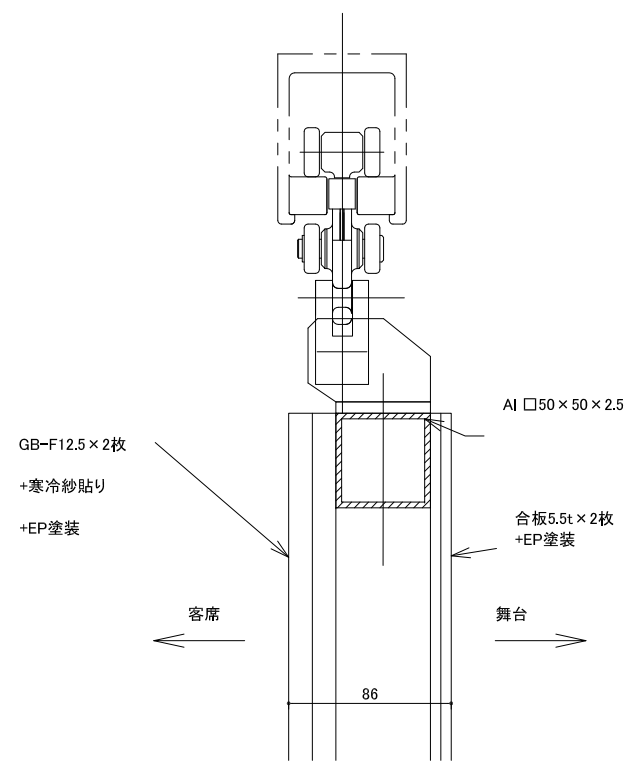
荷重表 (kg)						
No.	吊物名称	吊物荷重	除車自重	ワイヤー吊金具	巻上機	小計
1	三ツ折縦帳 前吊	750	50	45	500	1345
	三ツ折縦帳 後吊	(500)	50	45	500	595
2	引割暗転幕	350	50	45	200	645
3	第1ボーダーライト	700	50	45	500	1295
4	第1サスペンションライト	900	40	35	500	1475
5	第1吊物バトン	600	40	35	500	1175
6	第1天井反射板兼第2吊物バトン	5200	400	150	3000	8750
7	第1袖幕	200	50	45	200	495
8	第2ボーダーライト	700	50	45	500	1295
9	第2サスペンションライト	900	40	35	500	1475
10	第3吊物バトン	600	50	45	500	1195
11	中割幕	350	50	45	200	645
12	第3一文字幕	600	50	45	500	1195
13	第4吊物バトン	600	50	45	500	1195
14	第3サスペンションライト	900	40	35	500	1475
15	第2袖幕	200	50	45	200	495
16	アッパーホリゾントライト	900	50	45	500	1495
17	第2天井反射板兼第5吊物バトン	4000	400	150	3000	7550
18	第6吊物バトン	600	50	45	500	1195
19	引割バック幕	350	50	45	200	645
20	第5一文字幕	600	50	45	500	1195
21	三ツ折ホリゾン幕	200	40	35	500	775
24	プロセニウムサスペンションライト	900	40	35	500	1475
25	プロセニウムスピーカー	105	12	3	100	220
合計		21205	1802	1188	15100	39295

吊物荷重 39295kg
 制御盤 900kg
 配管類 1500kg
 合計 41695kg

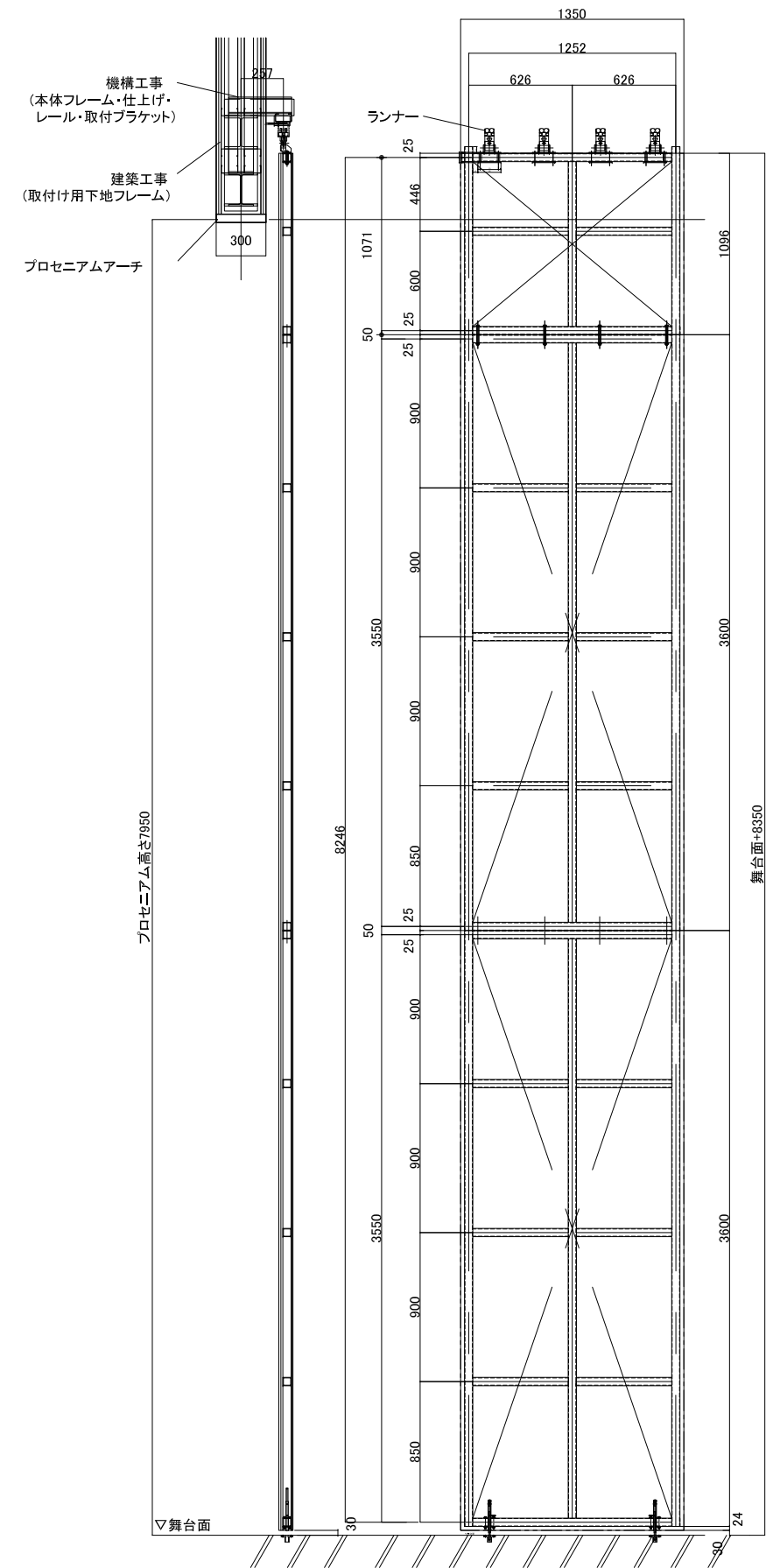
凡例
 ○500 鉛直荷重
 ② 吊物番号



プロセニウムパネル全体図 S=1:100



プロセニウムパネル仕上げ詳細図 S=1:4



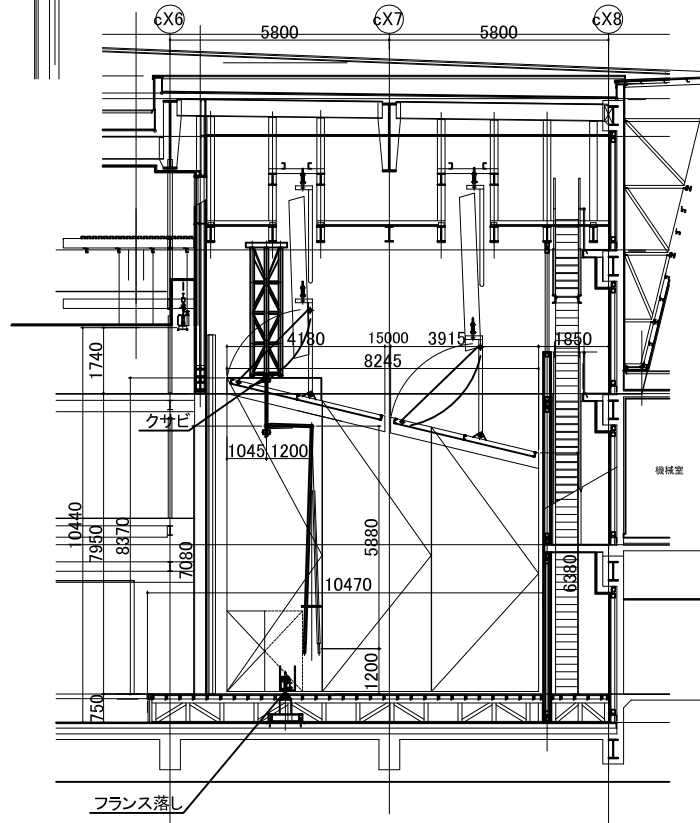
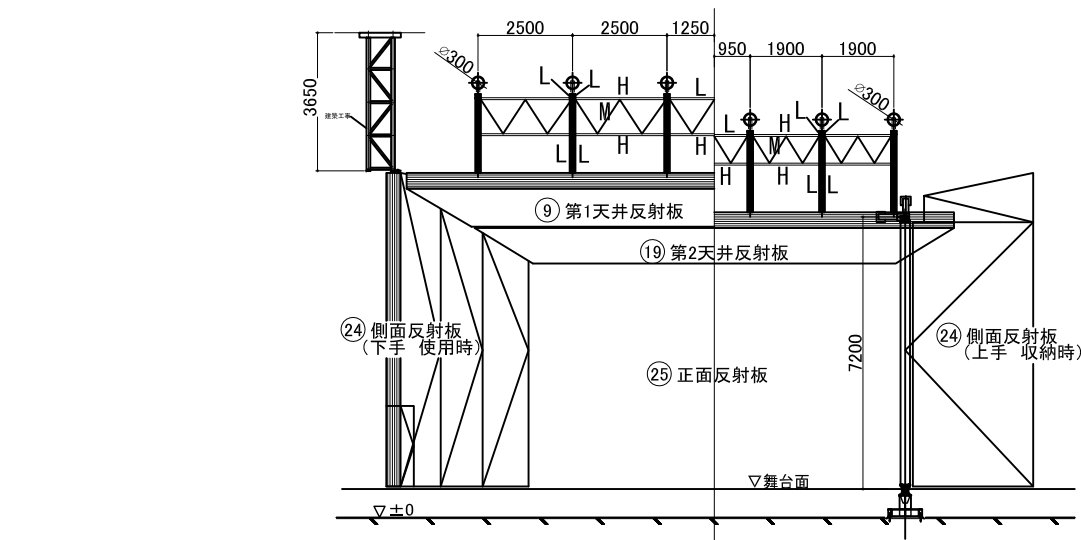
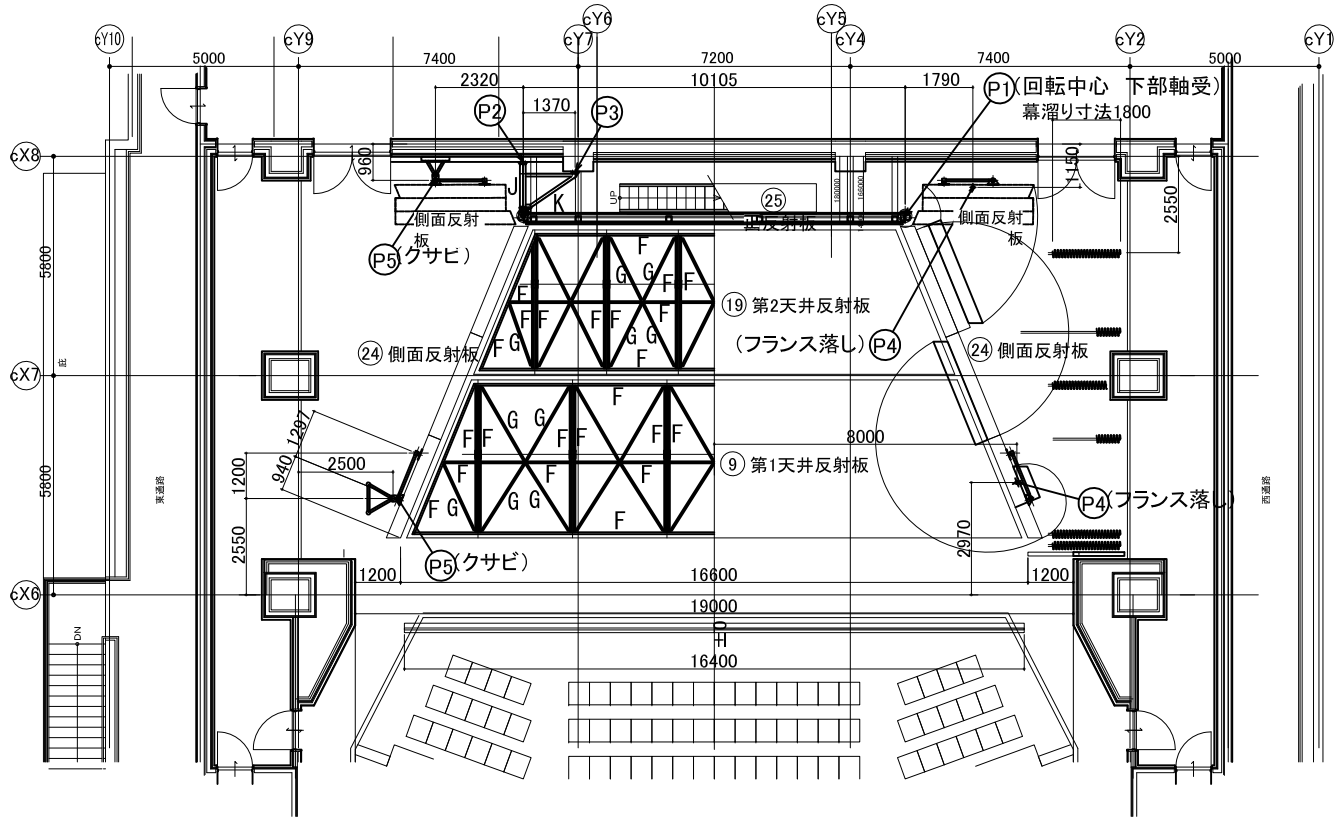
プロセニウムパネルフレーム図 S=1:40

■注記)	管理建築士	横浜市建築局	工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
	一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	図面名称	プロセニウムパネル図	
	年月日	平成28年8月	縮尺	A1=1/50 A3=1/100
	設計者	株式会社 国設計	図面枚数	図面番号
			原図	SE-010

荷重表(単位:TON)

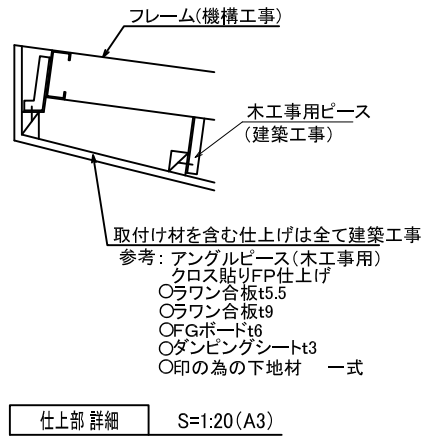
作用点 x ケ所数	側面反射板				
	(P1) x2	(P2) x2	(P3) x2	(P4) x4	(P5) x4
鉛直荷重 常時	8.0	—	—	—	—
水平荷重	常時	4.5	4.5	—	—
	地震時	8.0	8.0	8.0	2.1

(P1)~(P5) は、反力点を示す。



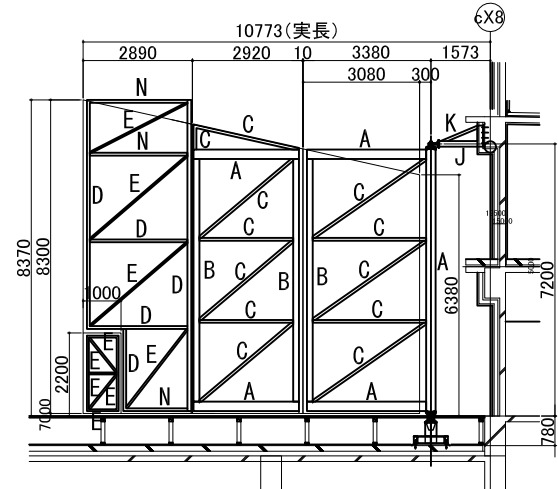
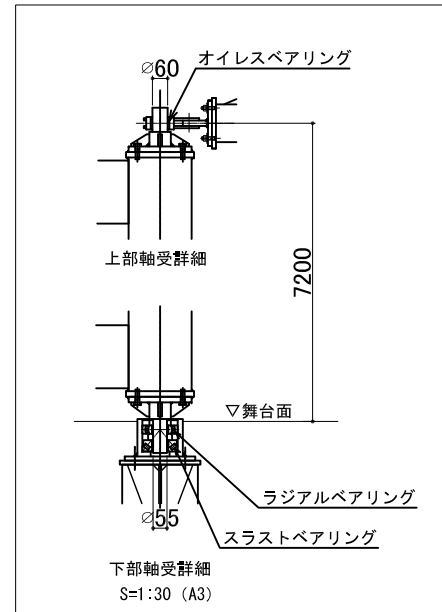
記事:

- 1)仕上げは全て建築工事とする。
- 2)木工事及び木部仕上げ塗装は全て建築工事とする。
- 3)木工用ピース及び取付は全て建築工事とする。
- 4)ダウンライト用穴開けは建築工事とし、配線工事は照明工事とする。
- 5)フレームは全て機構工事とし、構造材は一般構造用形鋼及び、軽量形鋼を使用し、接合はH.Tボルト締め又は溶接による。
- 6)フレーム部塗装は全て機構工事とし、一般錆止めの上仕上げ塗装とする。

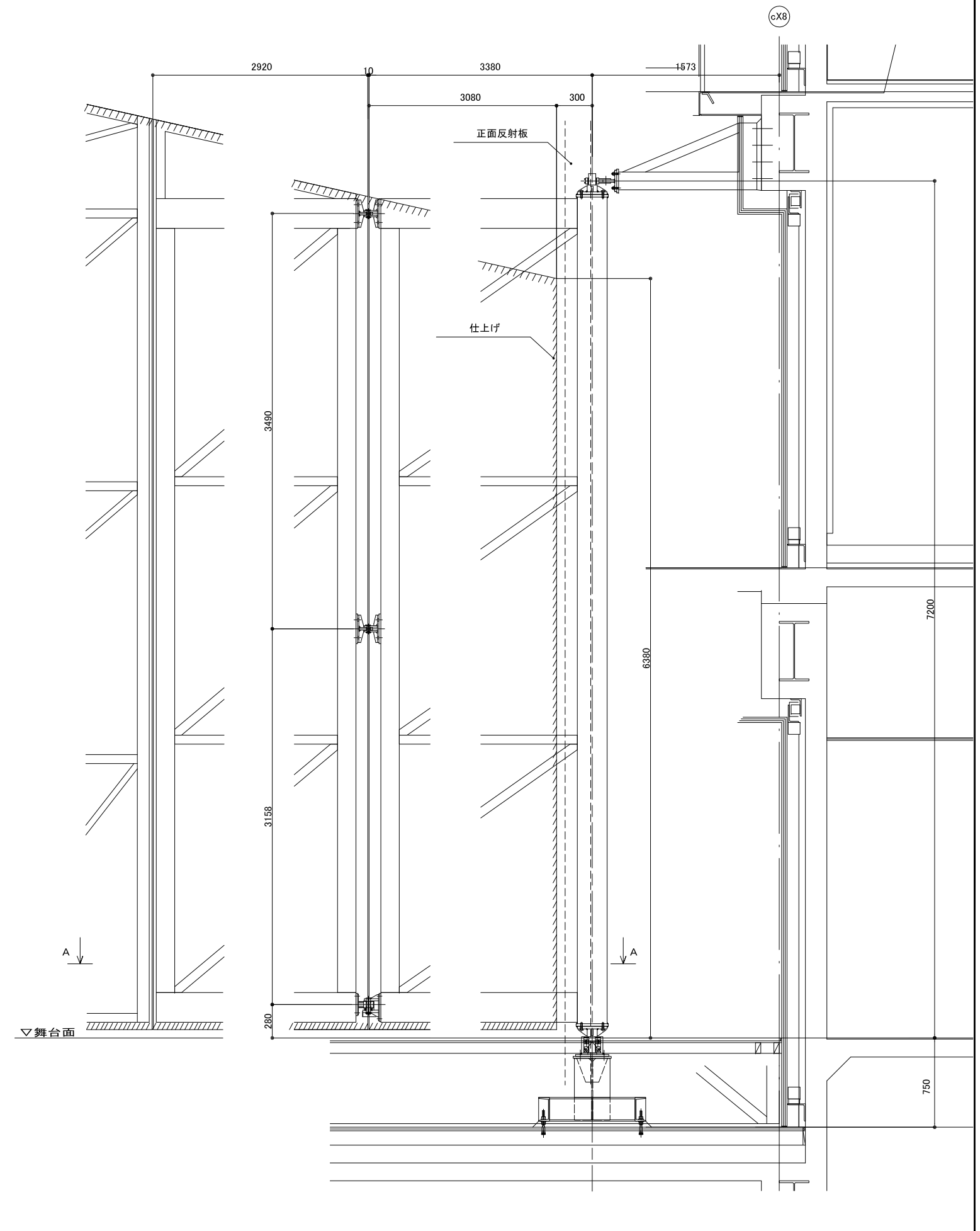
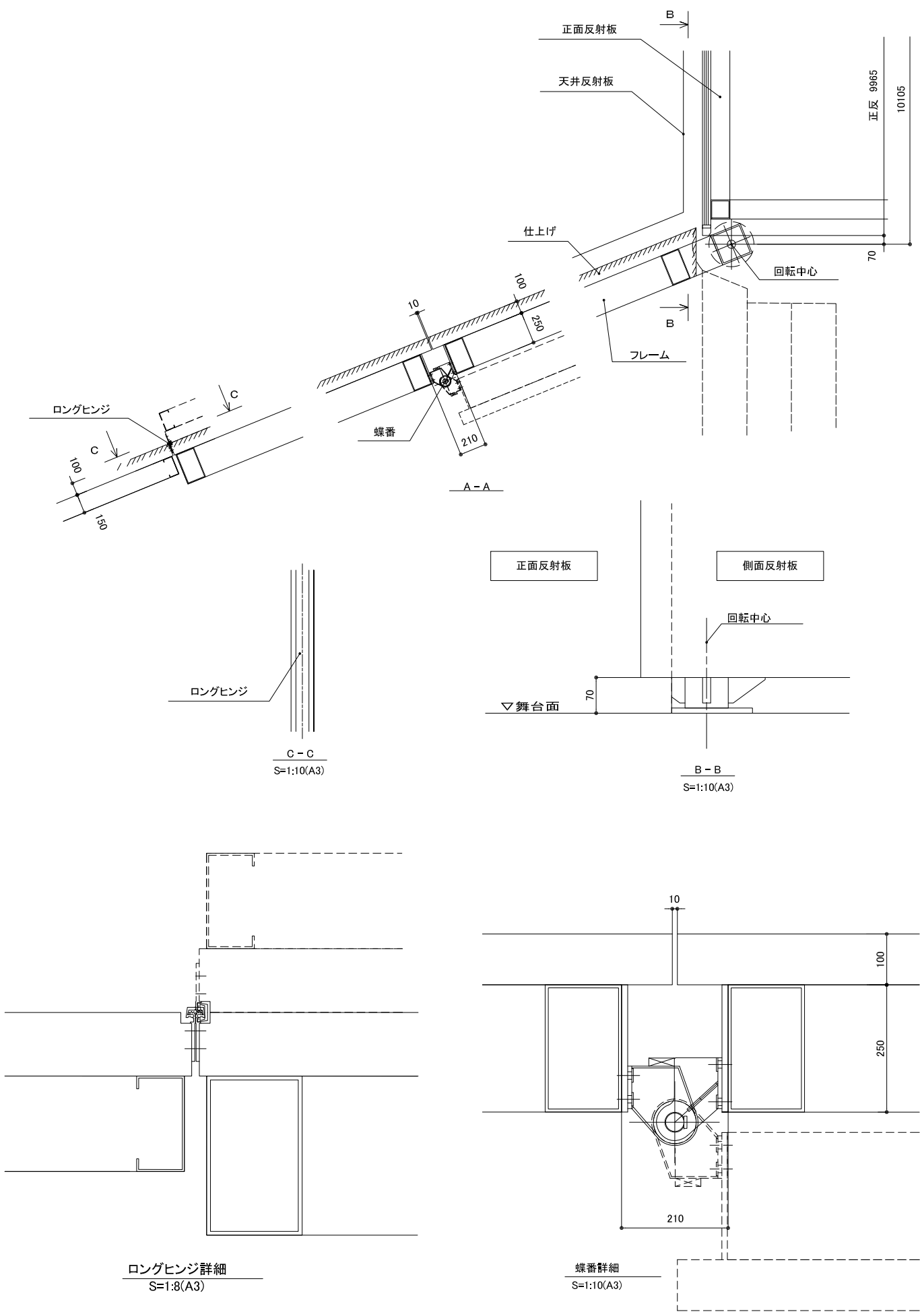


部材リスト * EP-G仕上げ

記号	部材
A	□250x250x12
B	□250x150x6
C	C250x75x25x4.5
D	C150x75x20x3.2
E	C150x50x20x2.3
F	C125x50x20x3.2
G	C125x50x20x2.3
H	C100x50x20x3.2
J	H150x150x7x10
K	[150x75x6.5
L	[100x50x5
M	L40x40x3
N	□150x100x6



■注記)



■注記	管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
	年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/20.5 A2=1/40.10	図面名称 反射板部分詳細図
	設計者 株式会社 国設計	図面番号 完成 原案 変更	図面枚数 図面番号
			図面番号 SE-012

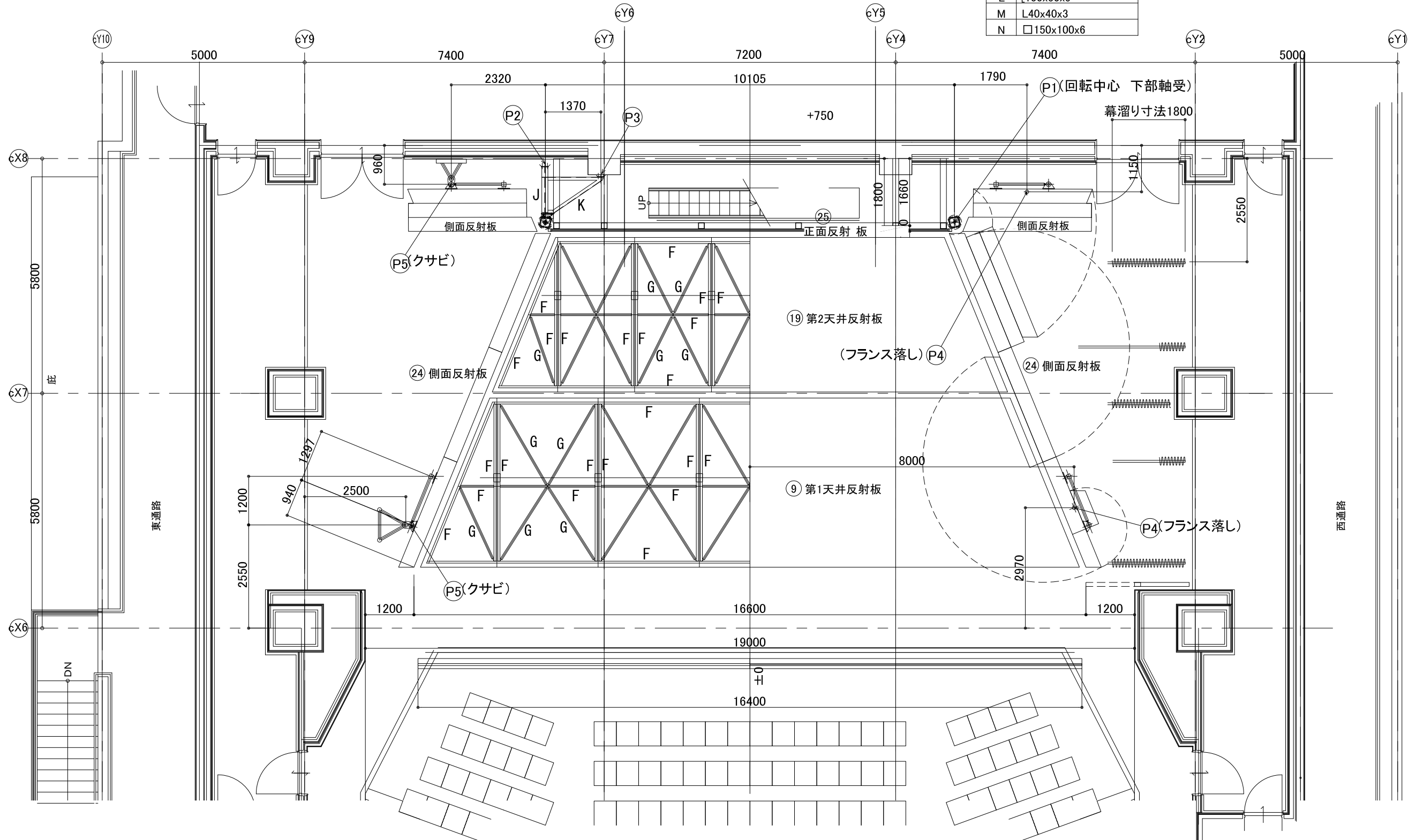
荷重表 (単位: TON)

作用点 x ケ所数	側面反射板				
	(P1) x2	(P2) x2	(P3) x2	(P4) x4	(P5) x4
鉛直荷重 常時	8.0	—	—	—	—
水平荷重	常時	4.5	4.5	—	—
	地震時	8.0	8.0	8.0	2.1

(P1)~(P5) は、反力点を示す。

部材リスト * EP-G仕上げ

記号	部 材
A	□250x250x12
B	□250x150x6
C	C250x75x25x4.5
D	C150x75x20x3.2
E	C150x50x20x2.3
F	C125x50x20 x 3.2
G	C125x50x20 x 2.3
H	C100x50x20 x 3.2
J	H150x150x7x10
K	[150x75x6.5
L	[100x50x5
M	L40x40x3
N	□150x100x6

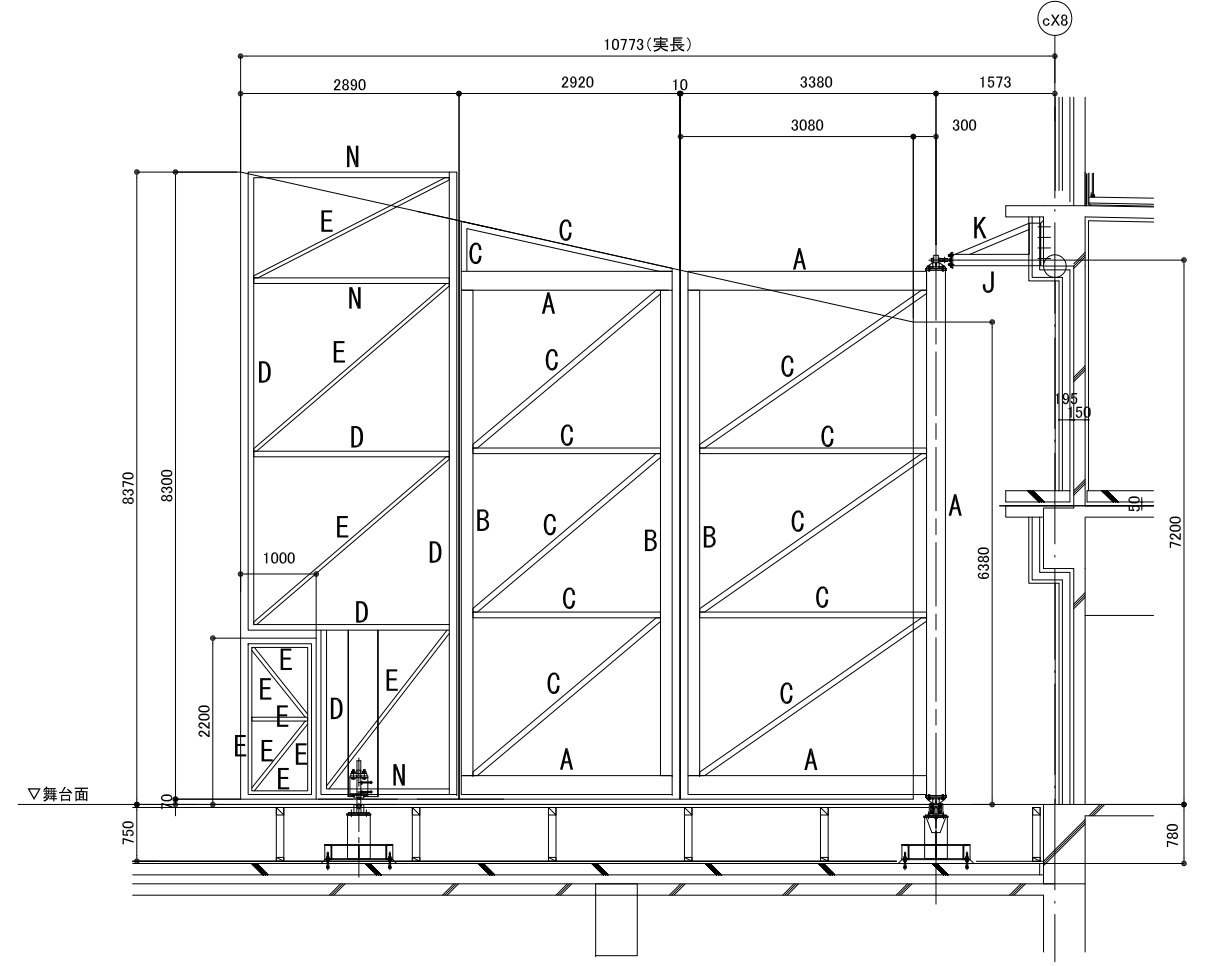
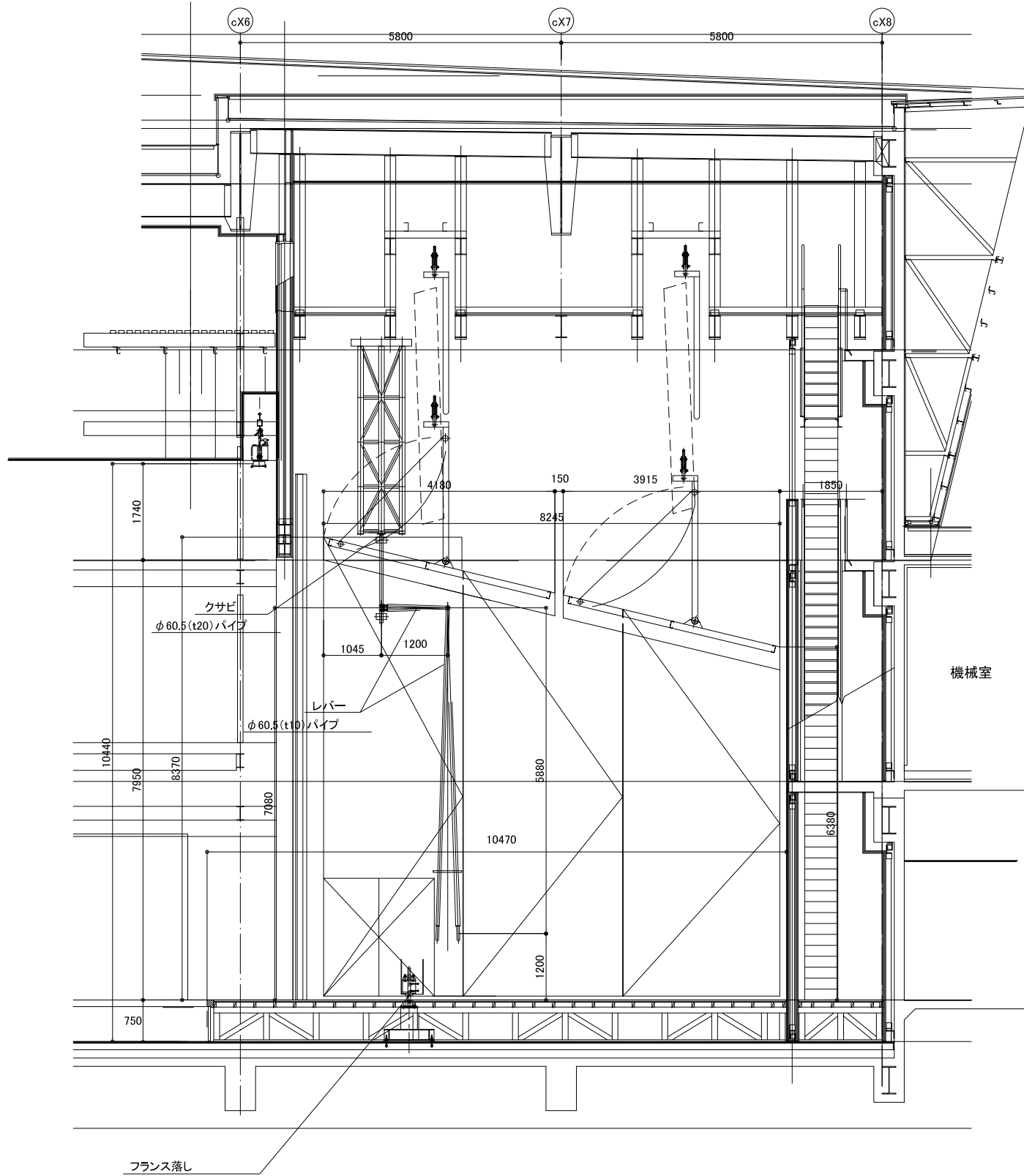
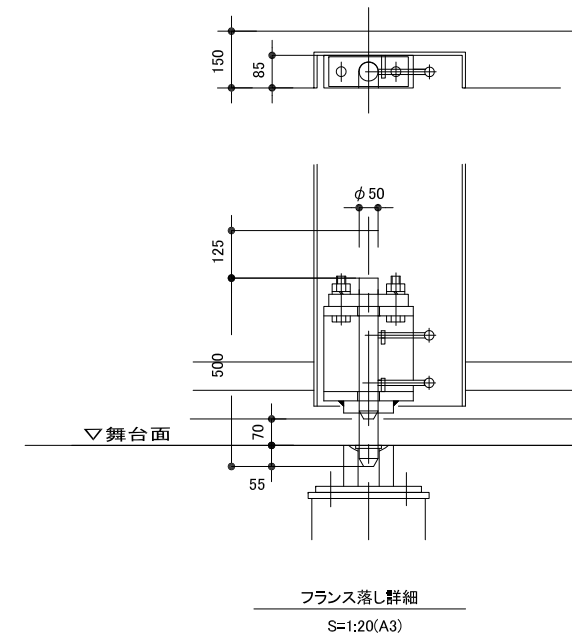


■注記

管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/50 A3=1/100	図面名称 反射板平面図
設計者 株式会社 国設計	図面番号 SE-013	図面枚数 —

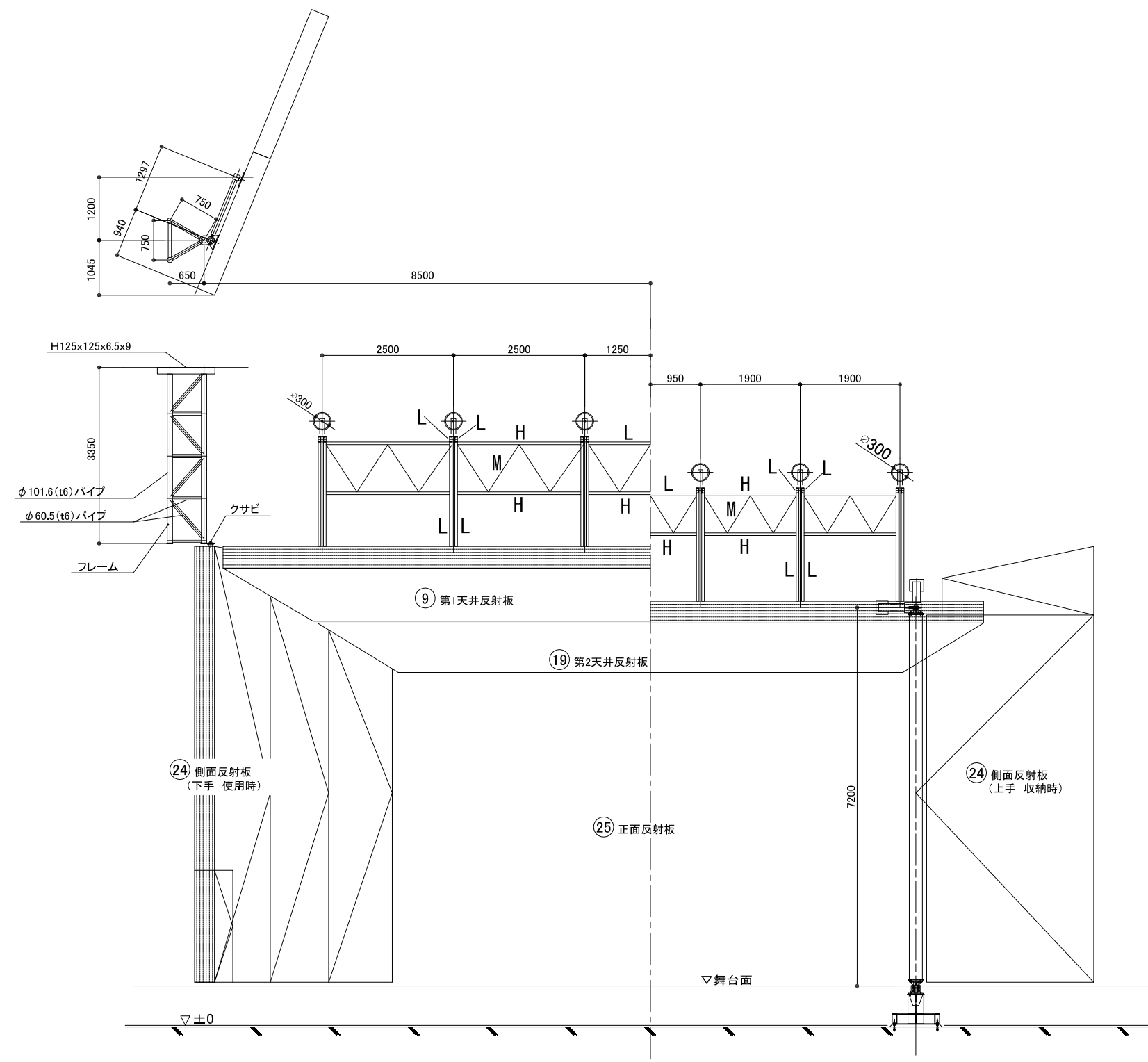
部材リスト *EP-G仕上げ

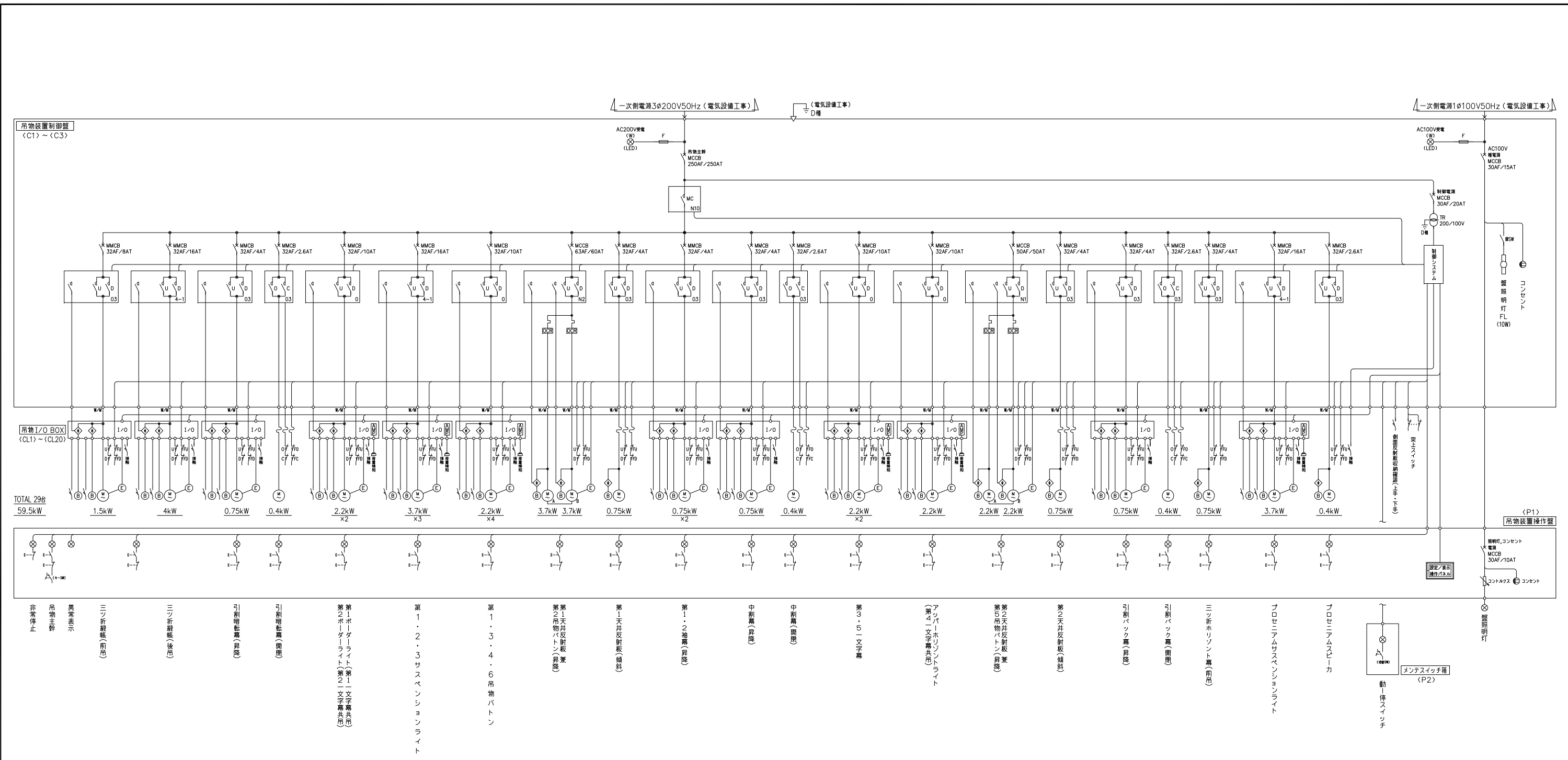
配号	部材
A	□250x250x12
B	□250x150x6
C	C250x75x25x4.5
D	C150x75x20x3.2
E	C150x50x20x2.3
F	C125x50x20x3.2
G	C125x50x20x2.3
H	C100x50x20x3.2
J	H150x150x7x10
K	[150x75x6.5
L	[100x50x5
M	L40x40x3
N	□150x100x6



部材リスト * EP-G仕上げ

記号	部 材
A	□250x250x12
B	□250x150x6
C	C250x75x25x4.5
D	C150x75x20x3.2
E	C150x50x20x2.3
F	C125x50x20 × 3.2
G	C125x50x20 × 2.3
H	C100x50x20 × 3.2
J	H150x150x7x10
K	[150x75x6,5
L	[100x50x5
M	L40x40x3
N	□150x100x6

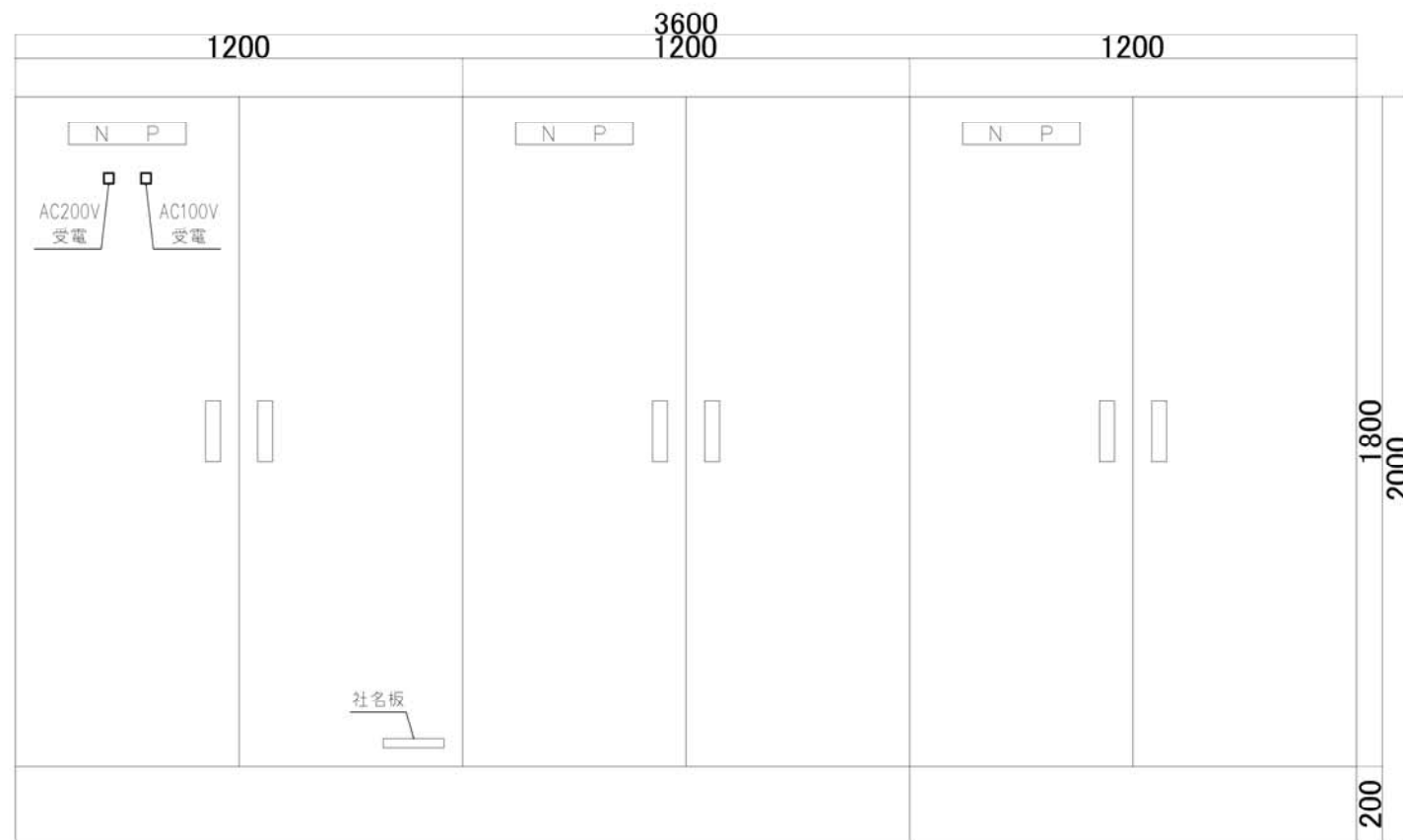




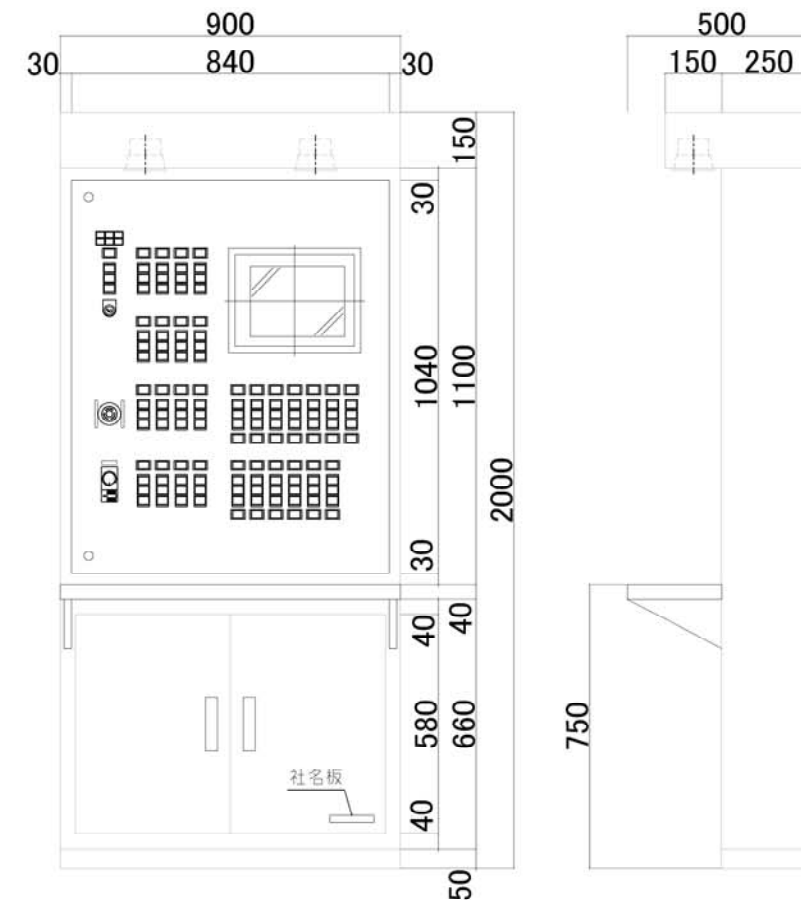
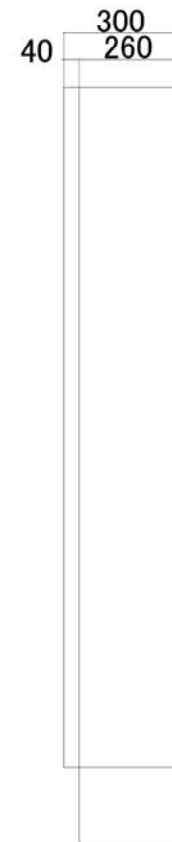
凡 例		凡 例	
記号	名称	記号	名称
MCCB	配線用遮断器	⌋	サーマル
MMCB	モータブレーカ	⊗	表示灯
MC (V)	電磁接触器	E-1 E-7	押釦スイッチ
F	ヒューズ	A (+-SW)	キースイッチ
M	モータ	A (M/S)	切替スイッチ
B	ブレーキ	⌋	リミットスイッチ
TR	単相変圧器	◇	整流器
E	エンコーダ		
OCR	過負荷検知		

位置決め対象装置《合計13台》

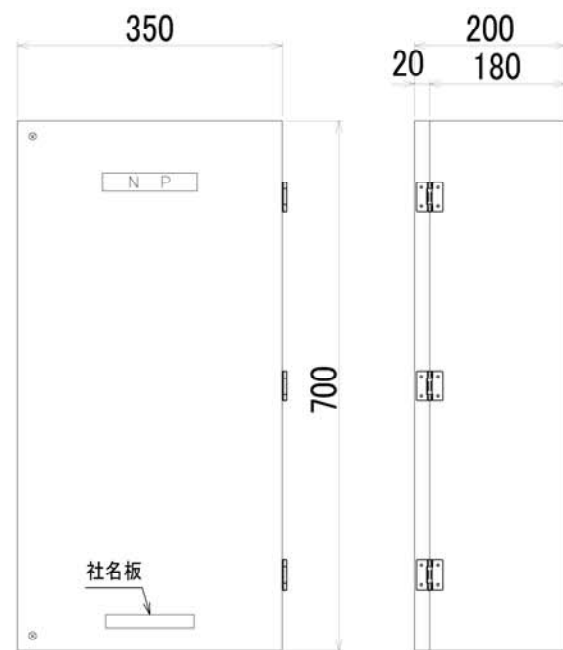
- ・第1,2ポーターライト
- ・第1~3サスペンションライト
- ・第1,3,4,6吊物ボタン
- ・第3,5文字幕
- ・アッパー・ホリゾンライト
- ・プロセニアムサスペンションライト



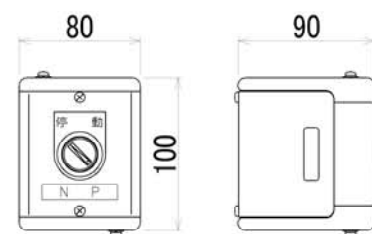
吊物装置制御盤 S=1:20
製作数 3面



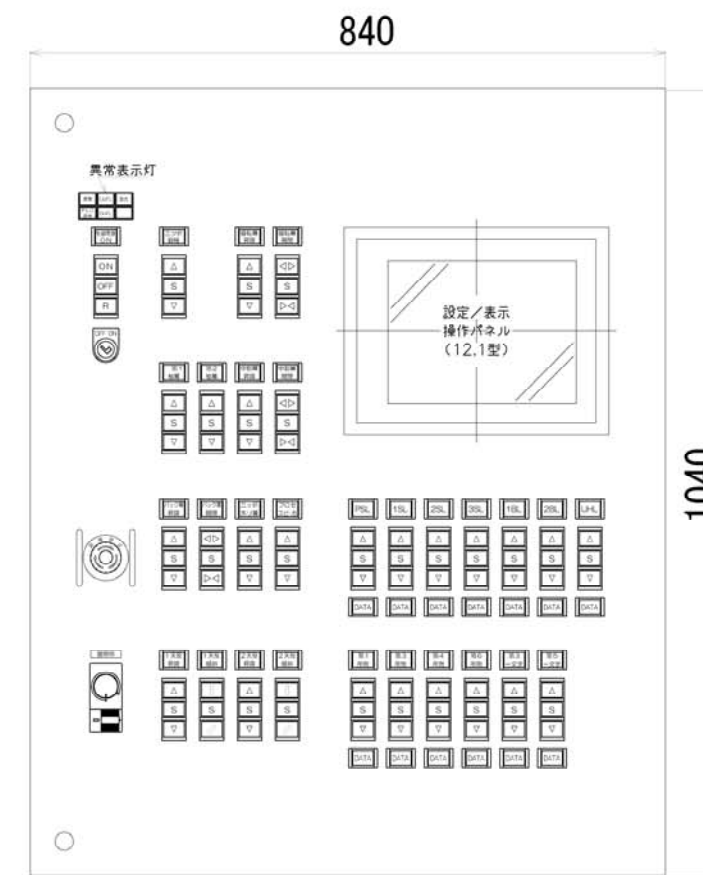
吊物装置制御盤 S=1:20
製作数 1面



吊物I/O BOX S=1:10
製作数 20面

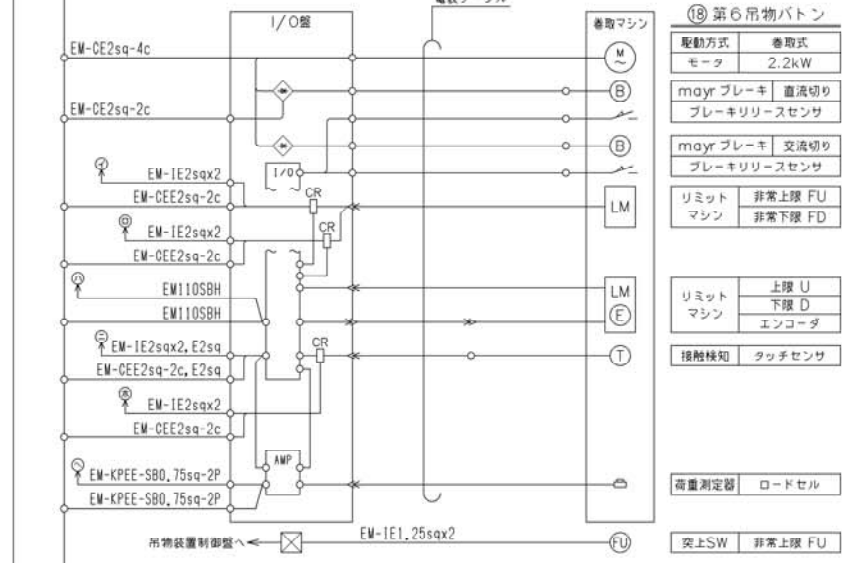
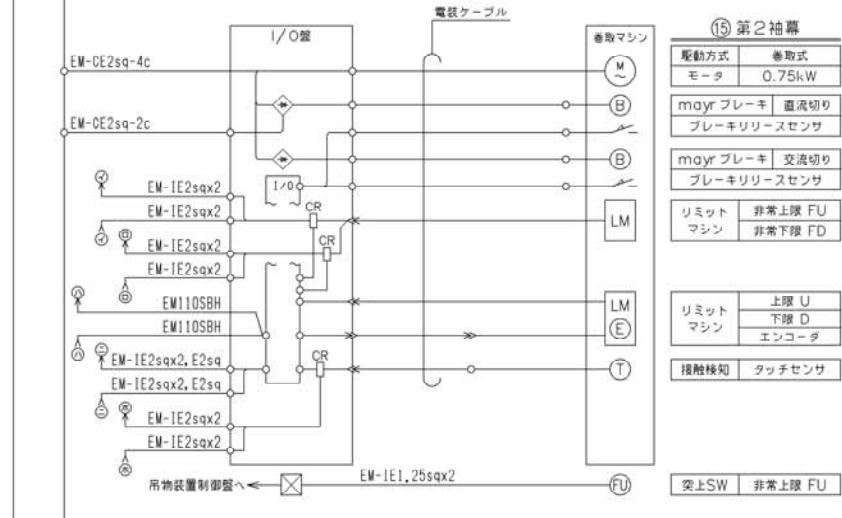
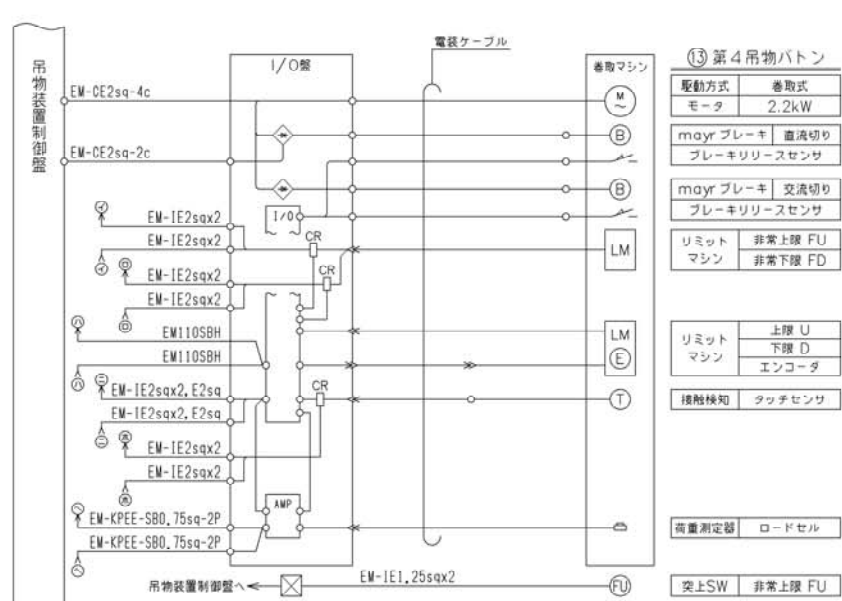
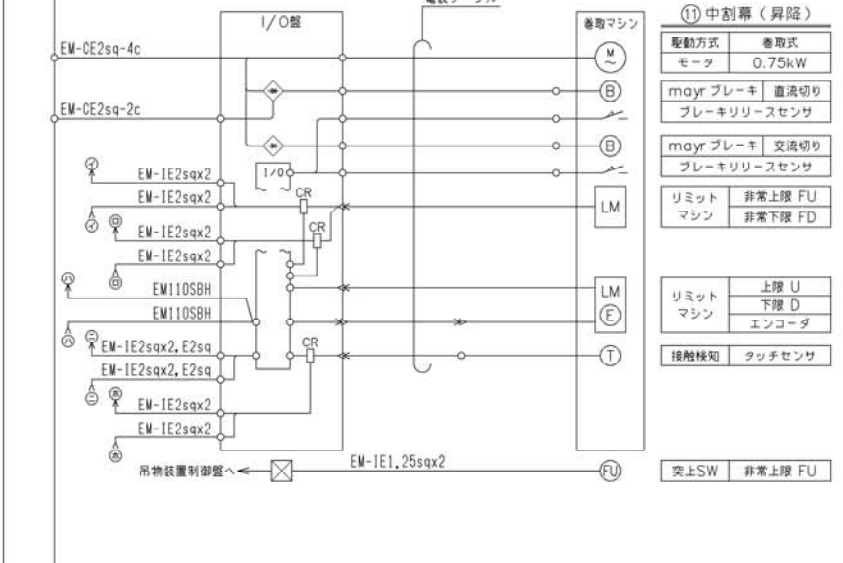
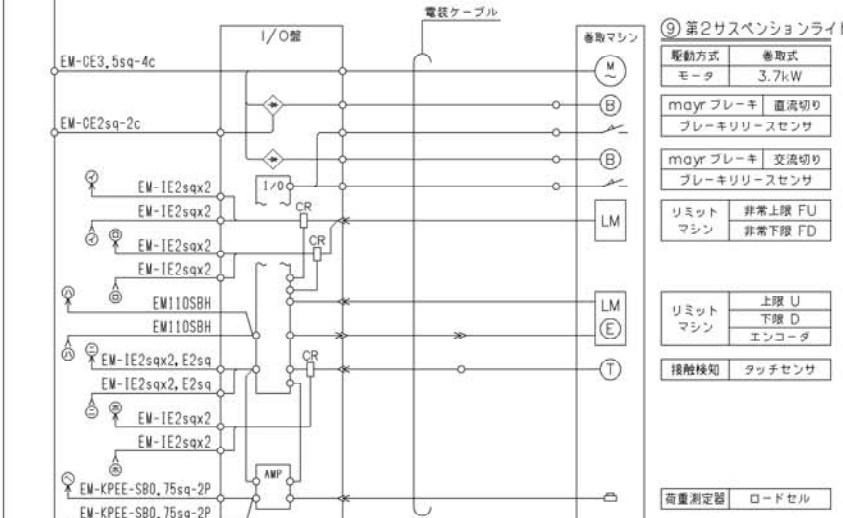
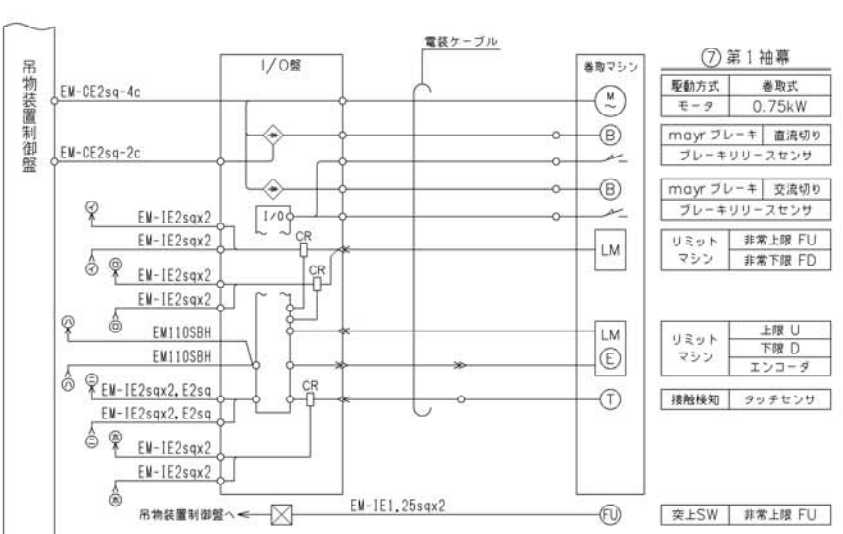
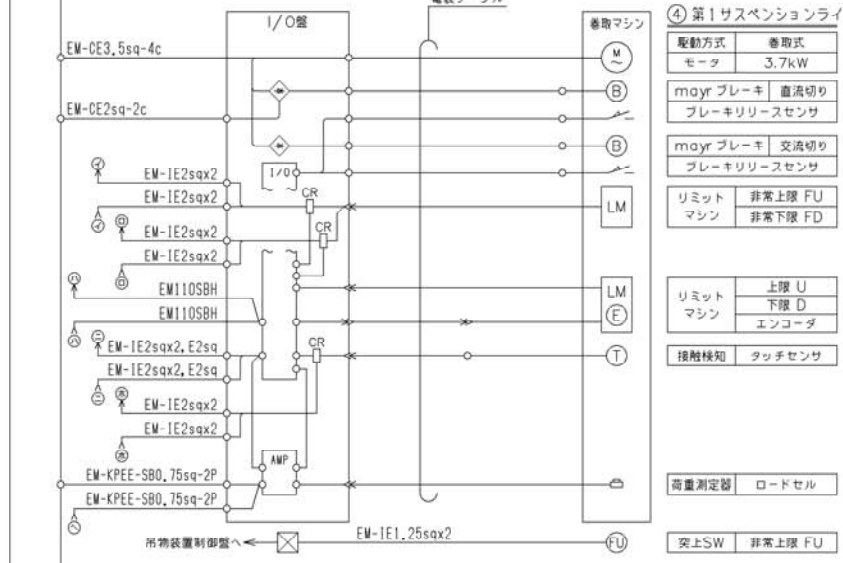
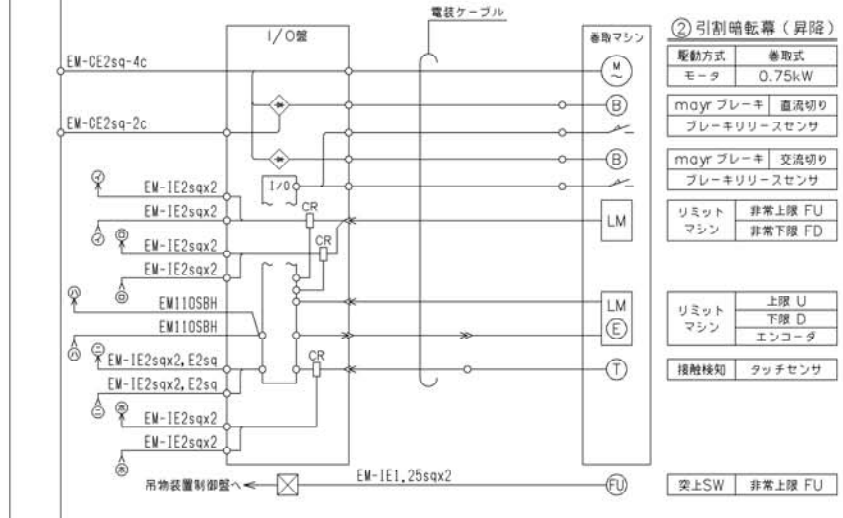
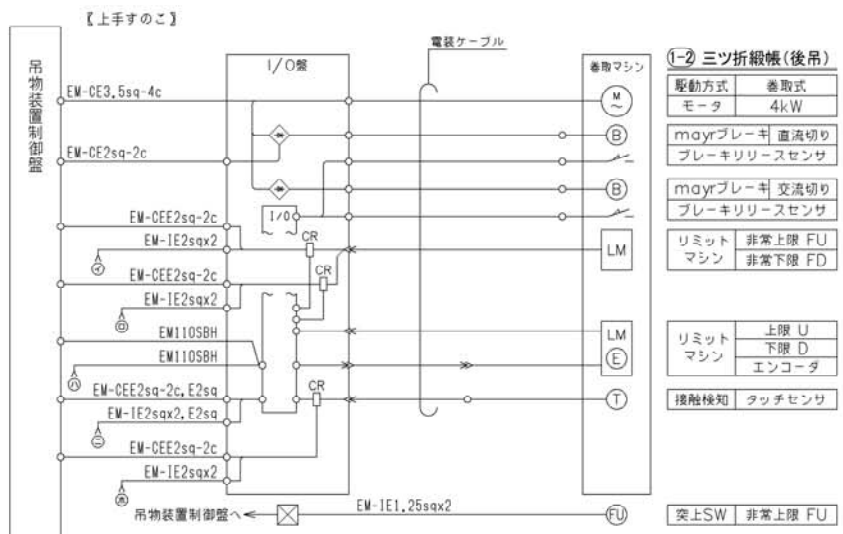


メンテナンススイッチ箱 S=1:5
製作数 1面

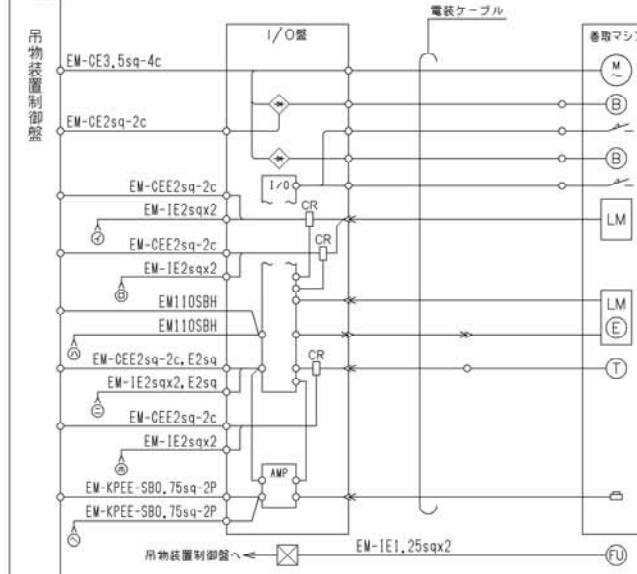


吊物装置操作盤 操作面 S=1:10

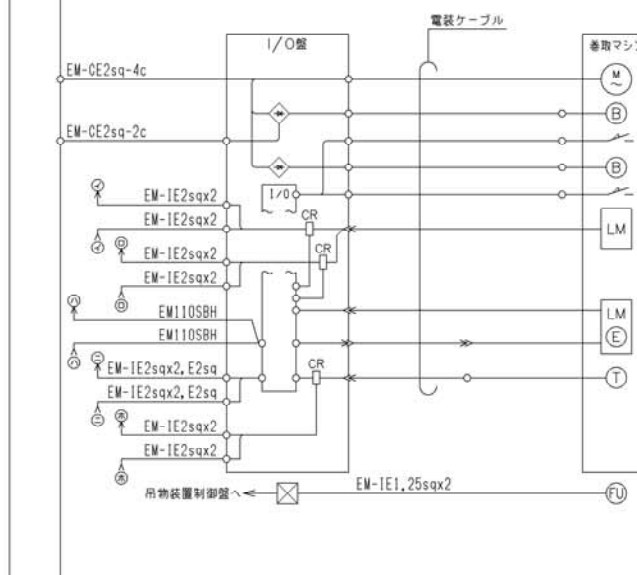
■注記	管理建築士 一般建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市 建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第9工区建築工事)
	年月日 平成28年8月 縮尺 -	図面名称 舞台機構盤類外形図	図面番号
	設計者	株式会社 国設計	図面枚数
	図面番号	SE-017	図面枚数



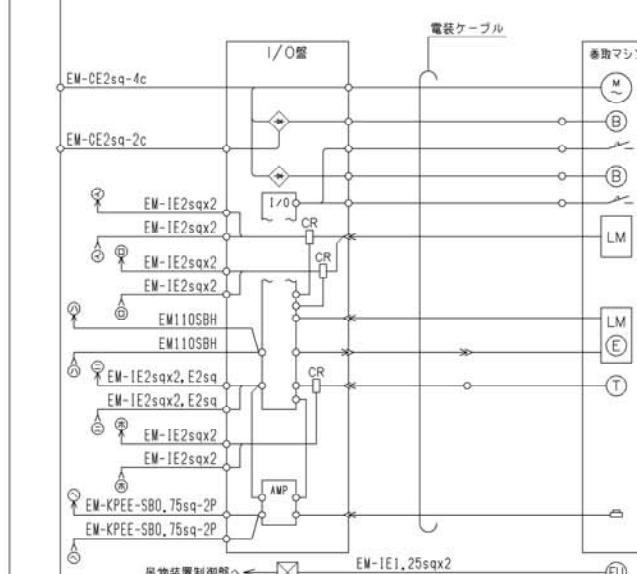
【下すのこ】



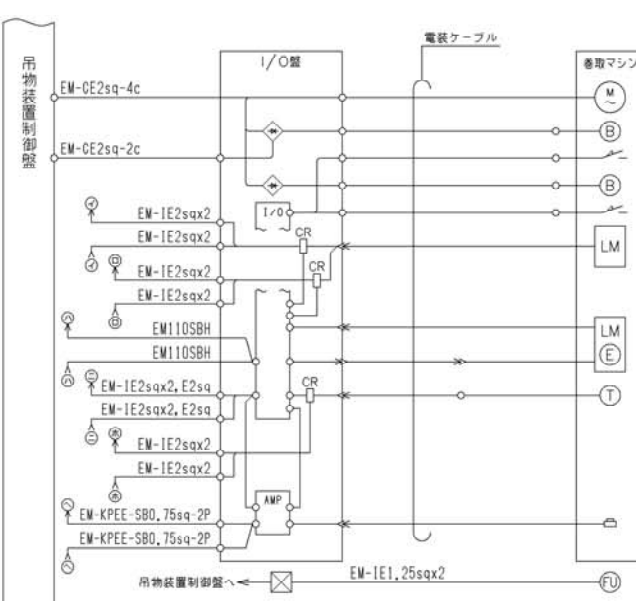
Technical specifications for the first hoist button, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.



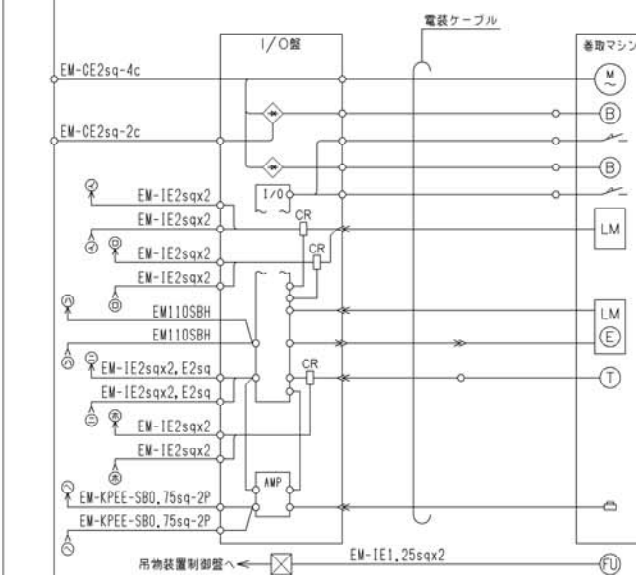
Technical specifications for the second hoist button, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.



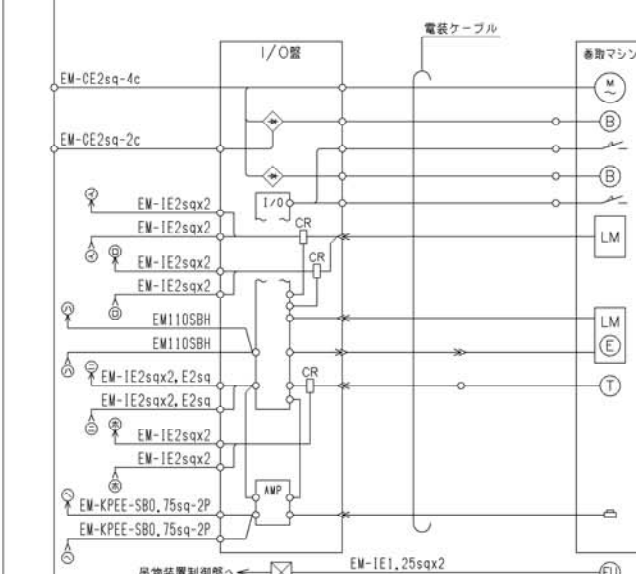
Technical specifications for the third hoist button, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.



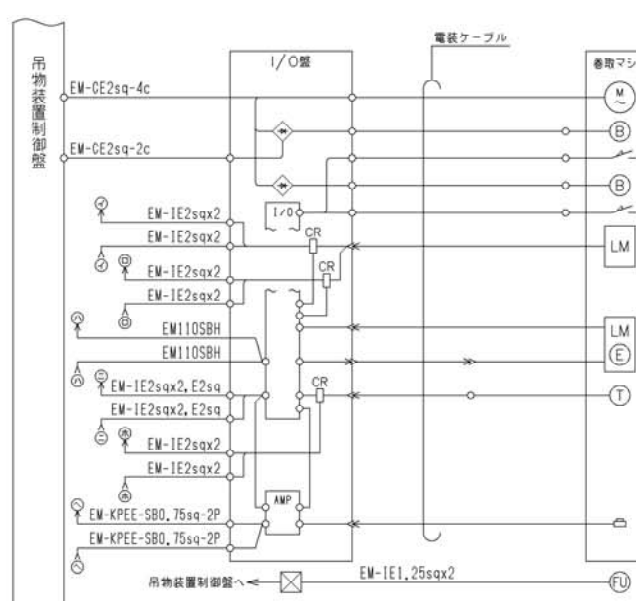
Technical specifications for the first hoist button, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.



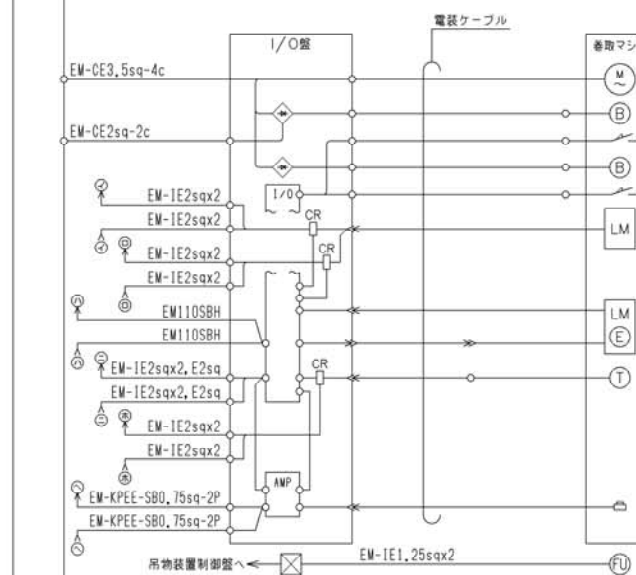
Technical specifications for the second hoist button, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.



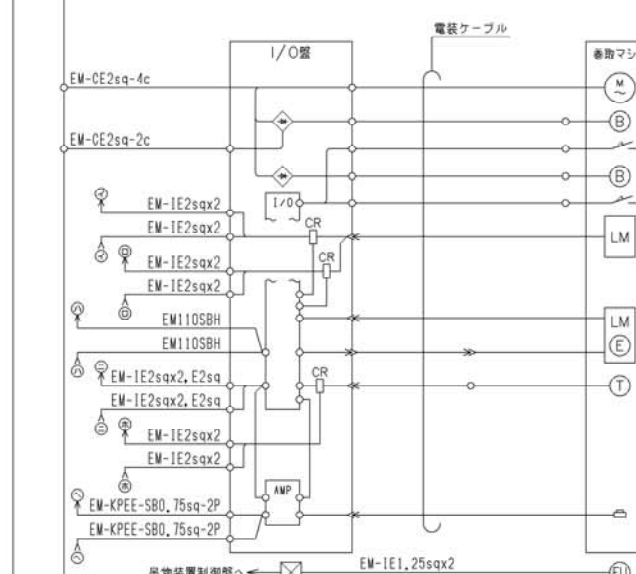
Technical specifications for the third hoist button, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.



Technical specifications for the third hoist button, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.

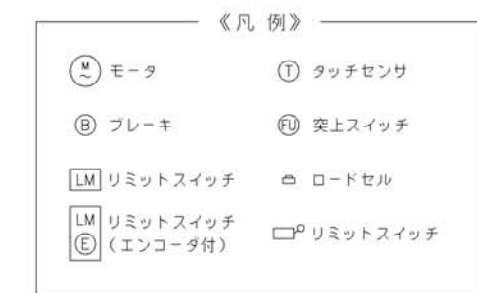
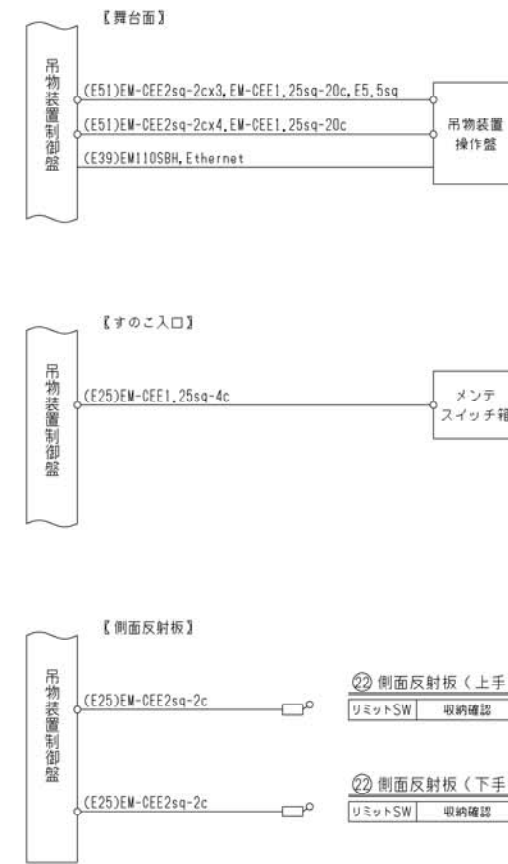
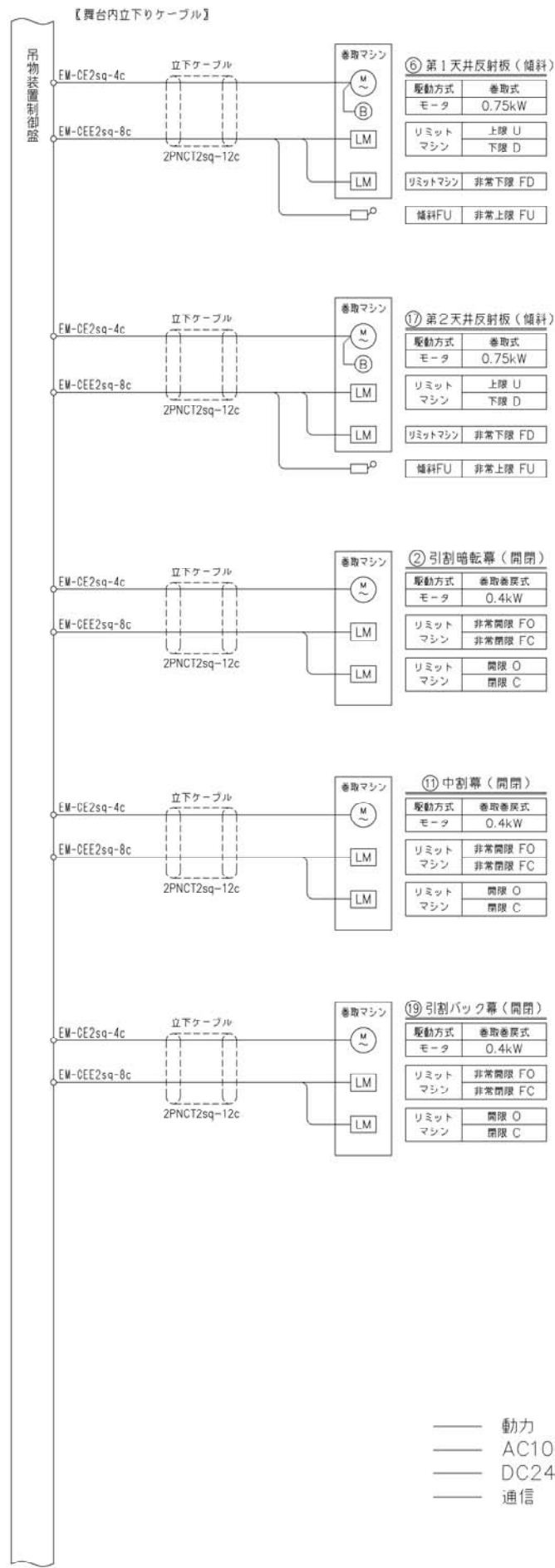
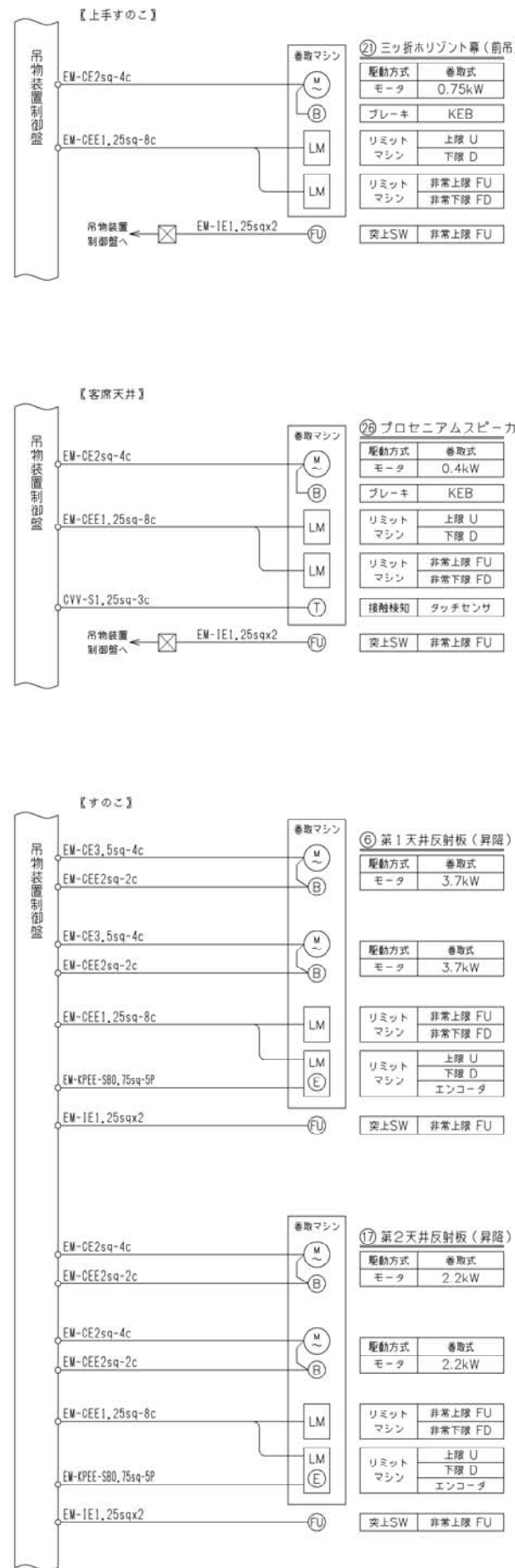
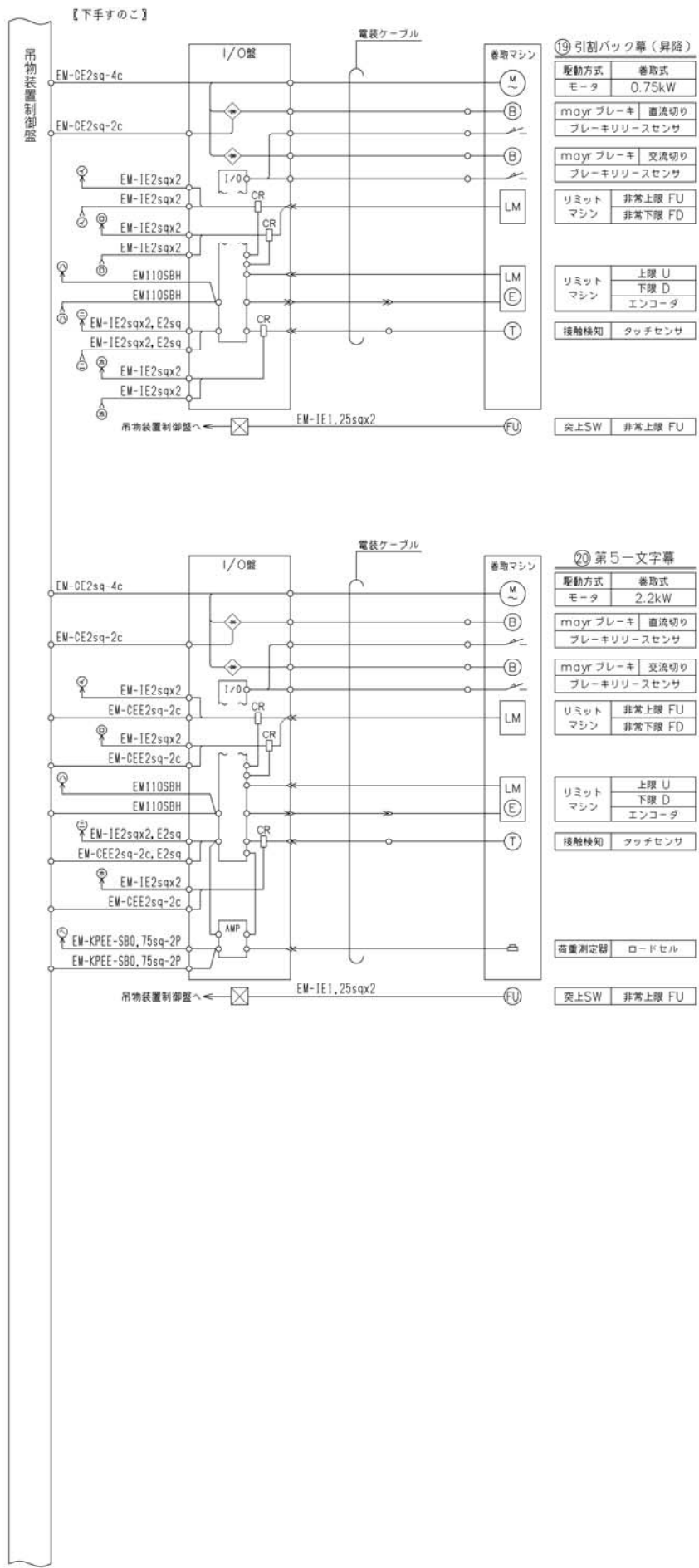


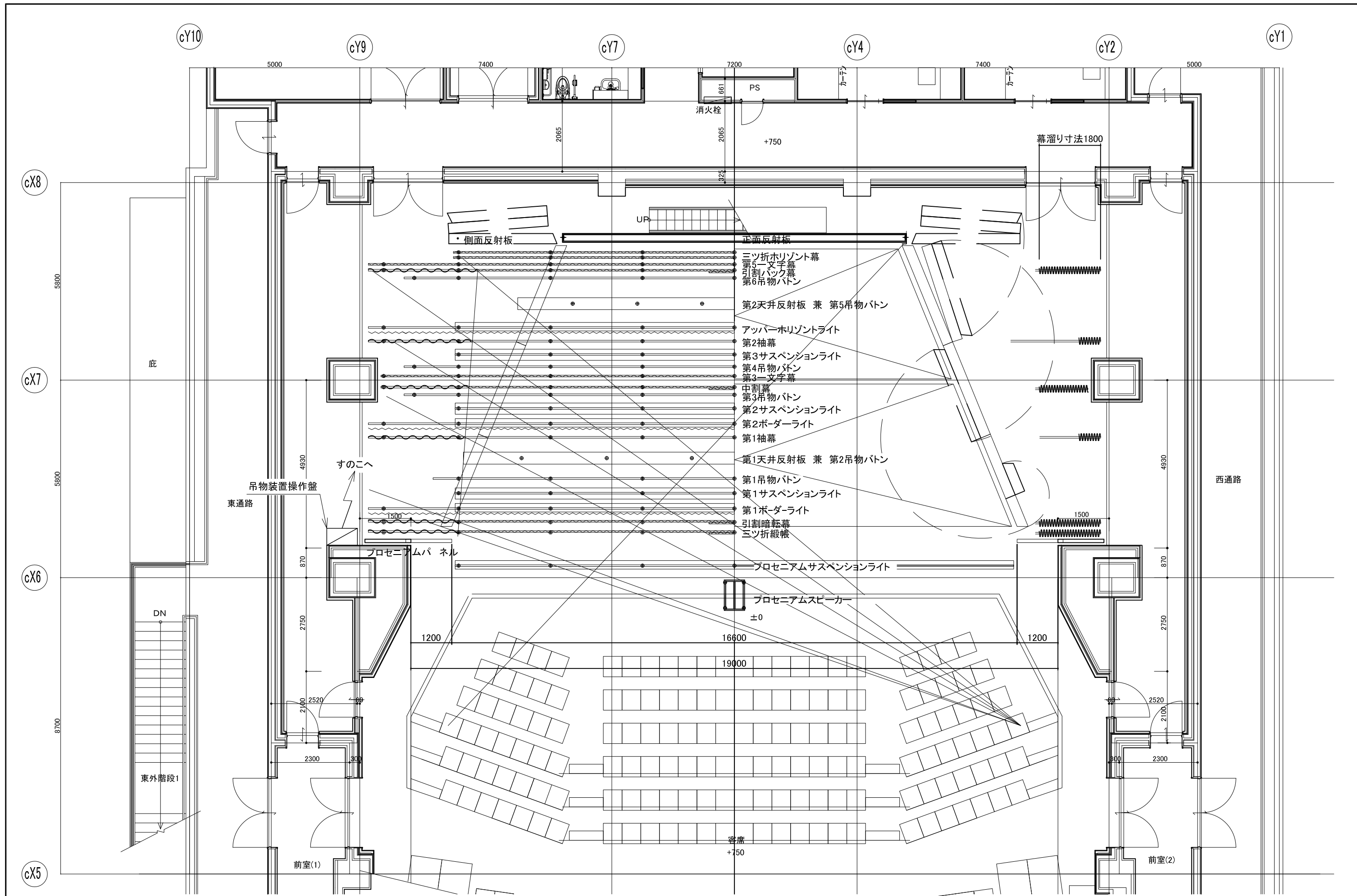
Technical specifications for the third hoist button, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.



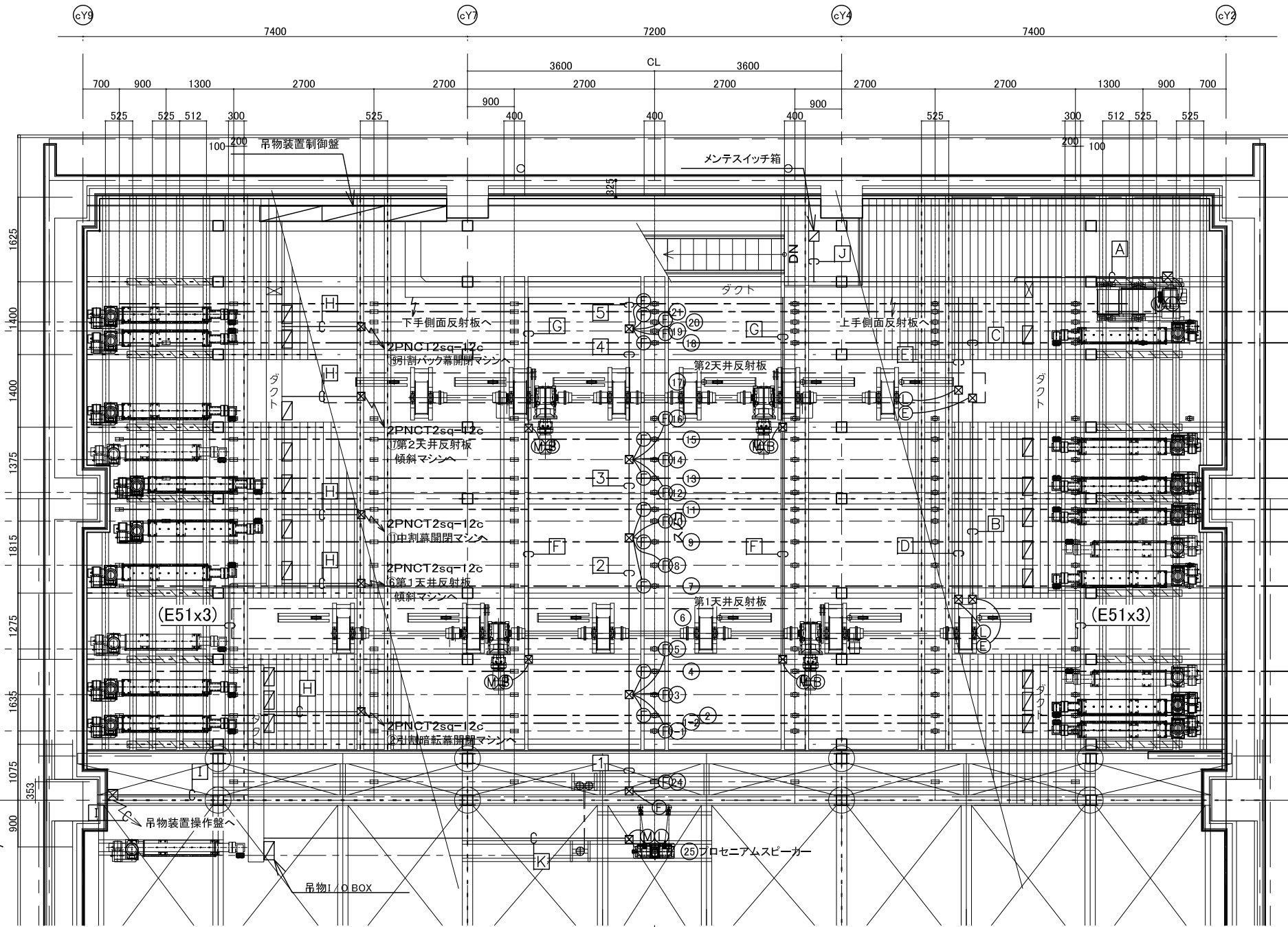
Technical specifications for the upper horizontal light, including motor type (巻取式), power (2.2kW), and various safety and control components.

■注記





管理建築士 一級建築士 登録第166404号 吉村久夫	横浜市建築局	工事名 金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)	図面名称 平面図配管
年月日 平成28年8月	縮尺 A1=1/50 A3=1/100	図面番号	図面枚数
設計者 株式会社 国設計	図面番号	図面枚数	図面番号
			SE-021



上手すのこ

No.	名称	容量	ケーブル
①	三ツ折縦帳(後吊)	4kW	EM-CE3.5sq-4c, EM-CE2sq-2c
②	引割暗転幕(昇降)	0.75kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
④	第1サスペンションライト	3.7kW	EM-CE3.5sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑦	第1袖幕	0.75kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑨	第2サスペンションライト	3.7kW	EM-CE3.5sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑪	中割幕(昇降)	0.75kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑬	第4吊物ボタン	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑮	第2袖幕	0.75kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑰	第6吊物ボタン	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
電源・通信ケーブル			
EM-CEE2sq-4cx2			
EM-CEE2sq-5cx2			
EM110SBHx2			
EM-KPEE-SB0.75sq-2Px2			

下手すのこ・客席天井

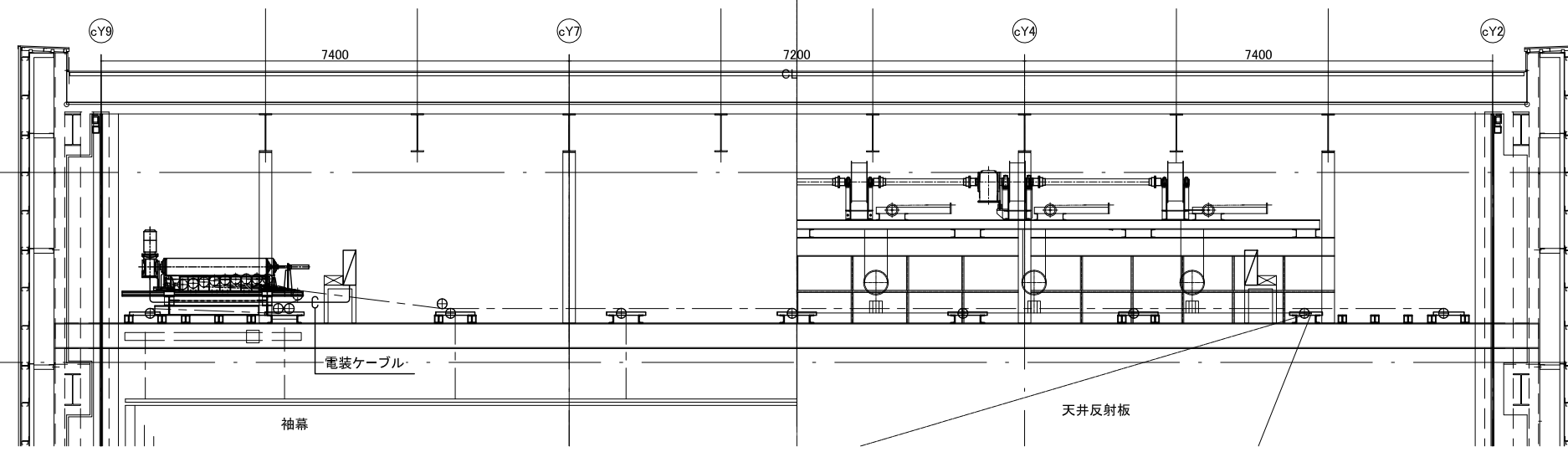
No.	名称	容量	ケーブル
⑭	プロセニアムサスペンションライト	3.7kW	EM-CE3.5sq-4c, EM-CE2sq-2c
①	三ツ折縦帳(前吊)	1.5kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
③	第1ボーダーライト	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑤	第1吊物ボタン	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑧	第2ボーダーライト	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑩	第3吊物ボタン	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑫	第3文字幕	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑭	第3サスペンションライト	3.7kW	EM-CE3.5sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑯	アッパー・サスペンションライト	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑰	引割暗転幕(昇降)	0.75kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑲	第5文字幕	2.2kW	EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2c
⑳	プロセニアムスピーカー	0.4kW	EM-CE2sq-4c, EM-CEE2sq-6c CVV-S1.25sq-3c
電源・通信ケーブル			
EM-CEE2sq-4cx2			
EM-CEE2sq-5cx2			
EM110SBHx2			
EM-KPEE-SB0.75sq-2Px2			

A	① 三ツ折縦帳(前吊) (E39)EM-CE2sq-4c, EM-CEE1.25sq-8c
B	(E31)EM-KPEE-SB0.75sq-5Px2
C	(E39)EM-KPEE-SB0.75sq-5Px2
D	(E31)EM-CEE1.25sq-8c
E	(E39)EM-CEE1.25sq-8cx2
F	(E39)EM-CE3.5sq-4c, EM-CE2sq-2c
G	(E51)EM-CE3.5sq-4c, EM-CE2sq-4c, EM-CE2sq-2cx2
H	(E39)EM-CE2sq-4c, EM-CEE2sq-8c
I	操作盤 (E51)EM-CEE2sq-2cx3, EM-CEE1.25sq-20c, E5.5sq (E51)EM-CEE2sq-2cx4, EM-CEE1.25sq-20c (E39)EM110SBH, Ethernet
J	メンテナンススイッチ箱 (E25)EM-CEE1.25sq-5c
K	(E39)EM-CE2sq-4c, EM-CEE1.25sq-8c (E25)EM-CEE-S1.25sq-3c

1	(E19)EM-IE1.25sqx4
2	(E25)EM-IE1.25sqx8
3	(E39)EM-IE1.25sqx24
4	(E51)EM-IE1.25sqx34
5	(E51)EM-IE1.25sqx44

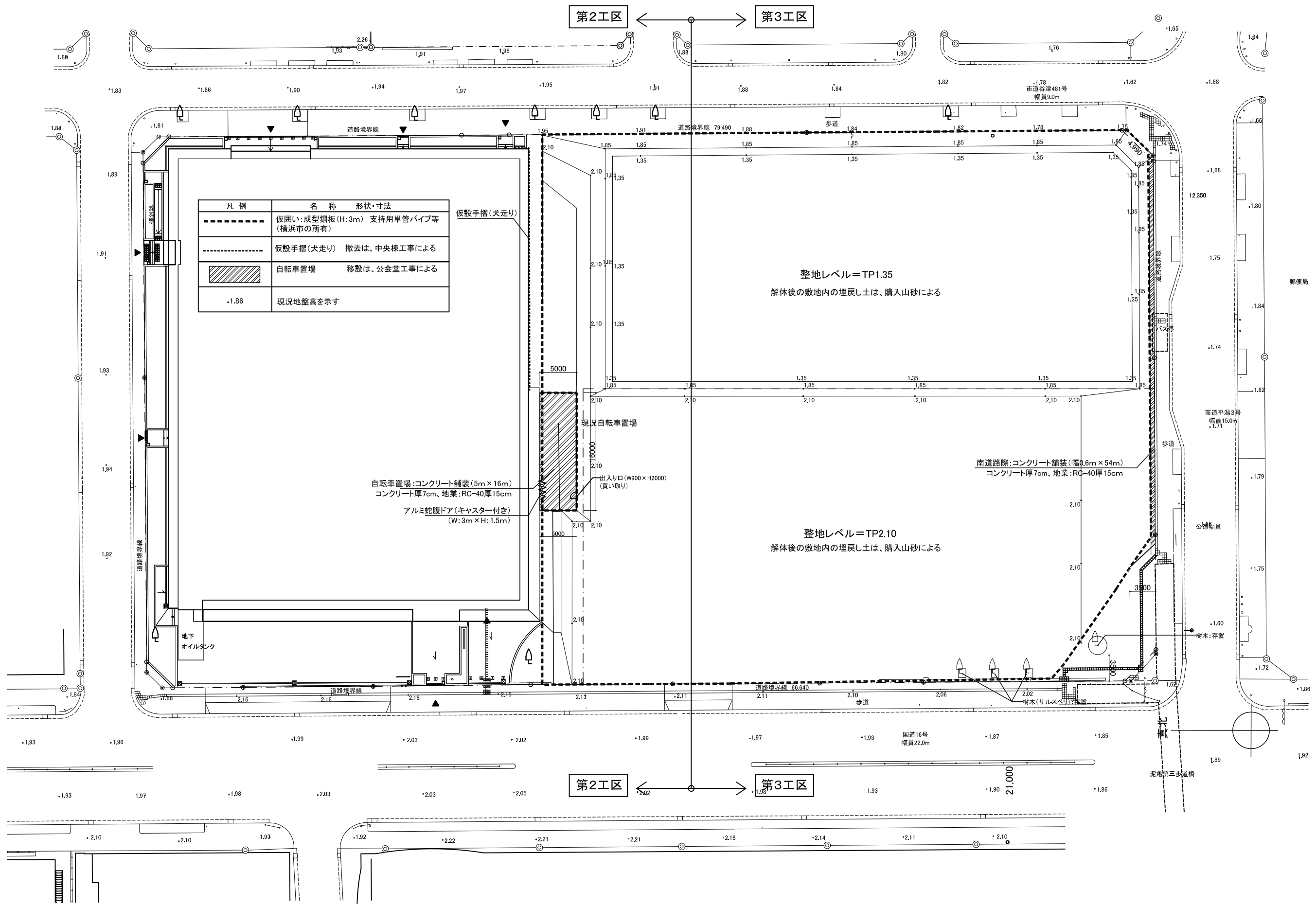
《凡例》

- Ⓜ モータ
- ⓑ プレーキ
- Ⓛ リミットスイッチ
- ⓔ エンコーダ
- ⓕ 突上スイッチ
- ⓧ ブルボックス



D矢视图

E矢视图



■注記)	管理建築士	横浜市建築局	工事名	金沢区総合庁舎改築工事(第3工区建築工事)
	一般建築士 登録第166404号 吉村久夫	年月日 平成28年8月	図面名称	仮設計画図(1)(工事着手前配置図)
	縮尺 A1=1/250 A3=1/500	図面番号	枚数 1/1	図面枚数 1/1
	設計者 株式会社 国設計	図面番号	参-001	

凡例	名称	形状・寸法
-----	仮囲い:成型鋼板(H:3m) 支持用単管パイプ等(横浜市の所有)	
▨	枠組み足場(W:900)	
-----	山留め(シートパイル)	
▭	敷鉄板 厚22	
⚡	交通誘導員	

第2工区(中央棟)		第3工区(公会堂)	
東ゲートA	パネルゲート:W4m×H4.5m (仮囲い:成型鋼板の撤去 含む)	東ゲートB	パネルゲート:W8m×H4.5m (仮囲い:成型鋼板の撤去 含む)
仮設手摺撤去	撤去する手摺の様子は別紙参照 区役所東通用口側に手摺新設 別図参照	西ゲート(国道側)	パネルゲート:W8m×H4.5m 存置期間:12か月 (仮囲い:成型鋼板の撤去 含む)
交通誘導員	交通誘導員(B) 1人×18か月	敷鉄板	鉄板 厚22(図面に示す範囲) 存置期間:12か月
枠組み足場	手摺先行工法 W=900(工区内の足場 全て)	仮囲い撤去	既存仮囲い(成型鋼板、支持用単管パイプ)全て撤去 (注)公園側の仮囲いは、先行撤去を行う。
山留め	シートパイル(工区内の山留め 全て)	仮囲い新設	A型バリケード新設 存置期間:12か月
(注記)	敷鉄板は、第3工区(公会堂)による。 仮囲い撤去は、第3工区(公会堂)による。	自転車置場移設	①現況自転車置場の撤去 コンクリート厚7cm、地業RC-40厚15cm 撤去 仮囲い、出入り口(アルミ蛇腹ドア)取り外し ②仮設自転車置場の新設 コンクリート厚7cm、地業RC-40厚15cm 新設 仮囲い、出入り口(アルミ蛇腹ドア)移設 ③仮設自転車置場の撤去 コンクリート厚7cm、地業RC-40厚15cm 撤去 仮囲い、出入り口(アルミ蛇腹ドア)撤去
		交通誘導員(A)	交通誘導員(A) 1人×12か月
		交通誘導員(B)	交通誘導員(B) 1人×20か月
		枠組み足場	手摺先行工法 W=900(工区内の足場 全て)
		山留め	シートパイル(工区内の山留め 全て)

